

阿賀町地域公共交通網形成計画

平成30年3月

阿賀町

(2) 阿賀町総合戦略【平成 27 年 10 月策定】

総合戦略は、総合計画との整合を図りながら、「人口減少対策と地方創生」を目的とした施策に焦点をあて、戦略的に取り組んでいます。その戦略における公共交通施策は、「人口減少を踏まえた新たな交通システムの構築」を戦略とし、「街中、郊外の新たな交通システムの整備を推進する」としています。また、公共交通を含め、「近隣市町村への通勤支援」の戦略として「通勤圏への利便性向上」を掲げています。

■総合戦略における公共交通の目標・施策

【基本目標】

- 基本目標 1 伝統産業のブランド化と新産業の推進
- 基本目標 2 通勤圏とヘルツーリズムによるライフスタイルの創出
- 基本目標 3 自然資源を活用した子育て環境づくり
- 基本目標 4 交通利便性の向上と集落連携による時代に合った地域づくり

基本目標 2 通勤圏とヘルツーリズムによるライフスタイルの創出

1) 基本的な方向性

町の自然環境を享受して暮らし、町外への通勤が容易にできるまちを実現します。また、ヘルツーリズムや大学連携により街の魅力アップを図るため、交通利便性を向上。移動しやすく地域内で暮らしに必要なものが揃えられるまちを実現するため、交通まちづくりを推進します。

【戦略 1：近隣市町村への通勤支援】

◆通勤圏への利便性向上

- ◆ニーズに応じた住宅供給
- など

基本目標 4 交通利便性の向上と集落連携による時代に合った地域づくり

1) 基本的な方向性

街の魅力アップを図るため、交通利便性の向上。移動しやすく地域内で暮らしに必要なものが揃えられるまちを実現するため、交通まちづくりを推進します。

【戦略 1：新たな公共交通整備】

◆人口減少をふまえた新たな交通システムの構築

【戦略 2：「小さな拠点」整備】

- ◆新たな交通網を生かした、公共施設等の再整備
- ◆各地域に「小さな拠点」となる施設の整備促進

2) 施策と取組内容

- ◆街中、郊外の新たな交通システムの整備を推進します。
- ・新交通システムの構築にあわせた「小さな拠点」整備を推進します。

1.2 関連計画の整理

(1) 第2次阿賀町総合計画【平成27年度～平成36年度】

第2次阿賀町総合計画では、「だれもが安心して暮らせるまちを目指して、阿賀町の素晴らしい大地や山河を基盤に、地域の伝統や歴史を大切にしながら新しい文化を、この地に暮らす人たちが一緒にやって築きます。」を基本理念に掲げています。そのため、「路線バスの効率化」、「多様なニーズに対応する交通手段」、「高速バスの運行維持」、「鉄道の施設整備の要望」を主な公共交通関連の施策としています。

■ 基本理念：豊かな自然・かがやく文化・みんなで築く安心のまち

将来像1：自然と共有するまち（ゆとり・潤い）	将来像2：文化があふれるまち（希望・活気）
将来像3：活力ある産業のまち（連携・発展）	将来像4：やすらぎのあるまち（安心・安全）

■ 総合計画における公共交通の課題

① 【バス】

国・県・町の補助を受けて、幹線道路を中心に路線バスが16系統（類似系統は1系統と見なす）運行されている。うち、町内の運行が14系統、町外（新潟市・阿賀野市）への運行が2系統となっている。

その他、新潟市を往復する「高速バス」、曜日を指定して各集落を周回する無料の「福祉バス」、町内小中学生の送迎を行う「スクールバス」、保育園児の送迎を行う「保育園バス」を運行している。

人口減少やマイカーの普及等により路線バスの利用者が年々減少し、運行維持のための町の費用負担が年々増加している。また、路線バスは主に幹線沿いを運行しているが、福祉施策の一環として運行している無償の福祉バスは全集落を運行しており、路線バス利用者の減少の要因ともなっている。

高速バスは、平成24年に収支の悪化から運行便数が減少（1日4往復→2往復）となったが、依然として厳しい状況である。

② 【鉄道】

町の中心部を流れる阿賀野川と並行して、JR磐越西線が運行されている。

町内には、国道49号沿いに「津川駅」「三川駅」「五十島駅」「東下条駅」が、国道459号沿いに「鹿瀬駅」「日出谷駅」「豊実駅」があり、主に通勤・通学のための貴重な交通手段となっている。また、休・祝祭日等には新潟・会津若松間をSLばんえつ物語号が運行している。

JR磐越西線の運行本数は近年徐々に減少傾向である。また、津川駅や五十島駅内にある跨線橋にはエレベーターなどの設備が無く、高齢者等がJRの利用を避ける要因になっている。JR磐越西線の利用しやすい環境整備が求められている。

■ 総合計画における主な施策

生活交通体系の再構築	<ul style="list-style-type: none">利用実態・利用目的等の現況をしっかりと把握し、路線バス系統の見直し等により効率化を図る。利用者の高齢化等による多様なニーズに対応するための交通手段を導入する。
高速バス運行の維持	<ul style="list-style-type: none">高速バスは医療機関への通院者等にとって重要な交通手段であり、運行の維持を図るため積極的な施策を展開する。
鉄道運行・施設の充実	<ul style="list-style-type: none">JR東日本に対して、運行本数の増加及び施設整備の要望活動を継続的に行う。

【参考】改正地域公共交通活性化再生法

平成25年の交通政策基本法の制定により、「改正地域公共交通活性化再生法」が施行されました。地方公共団体が中心となり、まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークを再構築することで「本格的な人口減少社会における地域社会の活力の維持・向上」を実現します。

また、「地域公共交通網形成計画」を策定することで、関係機関と協働で事業を推進するとともに、支援を受けることが可能となります。

■交通政策基本法（H25.12）の具体化

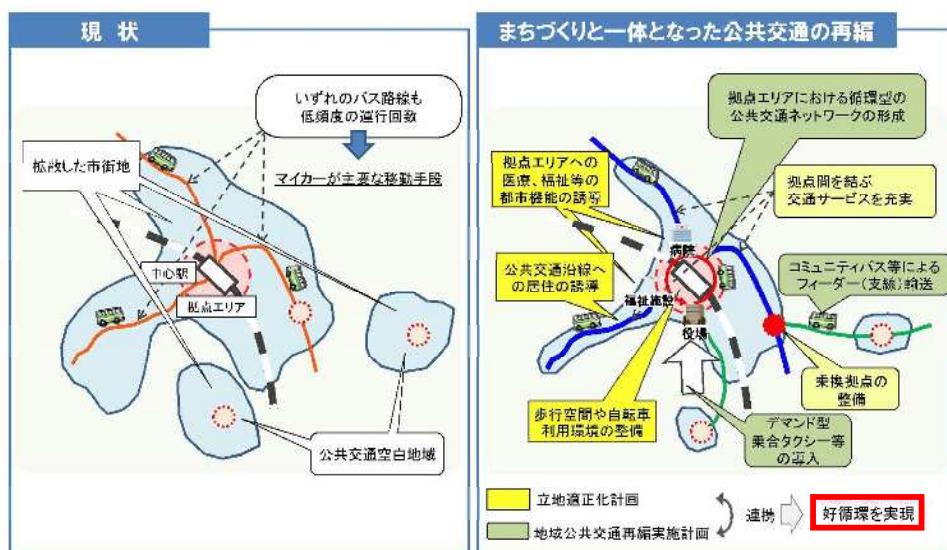
- ・日常生活等に必要不可欠な交通手段の確保等
- ・まちづくりの観点からの交通施策の促進
- ・関係者相互間の連携と協働の促進
- 等

■目標

本格的な人口減少社会における地域社会の活力の維持・向上

- ①地方公共団体が中心となり、②まちづくりと連携し、③面的な公共交通ネットワークを再構築

【コンパクトなまちづくりと一体となった公共交通の再編のイメージ】



※富山市、能美市、岸岡市、三条市等の取組を参考として作成

1.1 計画の目的

阿賀町では、町村合併後の平成18年度に「公共交通体系検討会議」を開催し、町村合併後の公共交通体系の現状把握と再構築に係る協議を行い、財源措置や既存車両の有効活用という観点から現行の運行体制が構築され、以来、住民のニーズに答える形で單一路線ごとの運行経路やダイヤの見直しを行い、利便性の向上に努めてきました。

しかしながら、近年におけるモータリゼーションの進展に加えて、他自治体と比べても急速に進んでいる少子高齢化及び人口減少により、公共交通の利用者は減少の一途をたどっており、平成27年10月に策定した「阿賀町人口ビジョン」では、更に人口減少が進むことが予想されています。また、利用者の減少に伴い、公共交通を維持するための町の費用負担が年々増加しており、公共交通を取り巻く環境は一層厳しい状況になっています。

一方で、利用者が減少し、路線バスの運行が維持できなくなると、毎日の運行を必要としている高校生の通学手段の確保や、車を運転しない高齢者の移動手段の確保が困難となります。また、高齢者の増加が予測されるなか、近年増加している高齢者事故防止の観点からも、公共交通の重要性は益々高まっていくと予想されることから、このような厳しい環境のなかでも、利用者のニーズに沿った交通手段の確保・提供が求められています。

こういったなかで、平成26年11月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第41号）」において、地方公共団体は「市町村が中心となり」「まちづくりや観光戦略など関連分野と連携し」「面的な公共交通ネットワークを再構築する」ことを基本原則とした「地域公共交通網形成計画」を作成することができるようになりました。

また、町の最上位計画である総合計画では、「豊かな自然・かがやく文化・みんなで築く安心のまち」を基本理念に掲げており、これを実現するため、「路線バスの効率化」や「多様なニーズに対応する交通手段」、「高速バスの運行維持」、「鉄道の施設整備の要望」等、主な公共交通関連の施策として位置づけています。

以上のような状況を踏まえ、町民の移動手段を確保し、阿賀町における持続可能な公共交通の整備を行うため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第1項」に基づき、「阿賀町地域公共交通網形成計画」を策定します。

また、本計画を効率的・効果的に実行するため、関係機関と形成する法定協議会である「阿賀町地域公共交通活性化協議会」を組織し、協働で計画を推進します。

第1章 計画の目的及び関連計画の整理

第3章 阿賀町における公共交通の課題

3.1 阿賀町における公共交通の課題	61
課題① 広く分散している人口をカバーできる公共交通網の形成	61
課題② 移動ニーズに合わせた運行頻度の見直し	63
課題③ 行政・交通事業者・住民の三者が連携した公共交通の実現	66
課題④ 町内中心部の回遊性を高める移動手段の確保	71
課題⑤ 町外への移動ニーズに応じた公共交通の実現	72
課題⑥ 町外から阿賀町へ来る人にあわせた移動手段の確保	74
課題⑦ 誰もが使いやすくわかりやすい公共交通の実現	76

第4章 基本的な方針

4.1 基本的な方針	78
4.2 計画の区域	80
4.3 計画の期間	80
4.4 計画の目標	81
4.5 各交通手段の役割	83
4.6 各地域の見直し方針	84
4.7 阿賀町地域公共交通網形成計画の計画体系	93

第5章 施策・事業

5.1 施策・事業の内容	95
5.2 事業スケジュールのまとめ	115

第6章 計画の達成状況の評価

6.1 PDCAサイクルによる施策・事業の推進	116
6.2 評価指標と目標値の設定	116

本編：目 次

第1章 計画の目的及び関連計画の整理

1.1 計画の目的	1
【参考】改正地域公共交通活性化再生法	2
1.2 関連計画の整理	3
(1) 第2次阿賀町総合計画	3
(2) 阿賀町総合戦略	4
(3) 阿賀町生活交通確保計画	5

第2章 地域及び公共交通の現状

2.1 地域の現状	6
(1) 位置、地勢	6
(2) 人口	7
(3) 自動車・免許の保有状況	12
(4) 高齢者の事故	16
(5) 町外への移動	17
(6) 各施設の立地状況	21
(7) 主な観光施設について	28
(8) 移動販売の実態	30
2.2 公共交通の現状	31
(1) 公共交通網	31
(2) 鉄道	32
(3) バス	34
(4) 路線バスと鉄道の接続	56
(5) 利用者の流動状況	58
(6) タクシー	60

(3) 阿賀町生活交通確保計画【平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月】

生活交通を確保するため、「学生や高齢者の必要性に合うルートや運行時間帯を考慮した交通の確保」や「地域の実情に応じた効率的・効果的な運行形態を検討し、生活交通の確保」を基本方針としています。また、その方針を実現するため、国・県の支援を受けながら、実施しています。

■阿賀町生活交通確保計画における課題と基本方針

(1) 生活交通に係る課題

- ①人口減少やマイカーの普及等により路線バスの利用者が年々減少し、県補助対象から外れる路線が増えており、運行維持のための町の費用負担が膨らんできている。
- ②路線バスは主に幹線沿いを運行しているが、福祉施策の一環として運行している無償の福祉バスは全集落を運行しており、路線バス利用者の減少の要因ともなっている。
- ③路線バスと福祉バス等、交通機関を連絡する待合場所（ターミナル等）がないため、利用者に不便をかけており、また、路線バスと福祉バスの運行事業者が異なるため運休の有無など、各々に問い合わせ先が異なり、公共交通情報の一元化ができず改善が進まない。

(2) 基本方針

1) 交通ネットワークの構築

地域住民にとっての通学・通院・買い物等の日常生活に必要な生活交通について、特にバス利用者の主体である学生や高齢者の必要性に合うルートや運行時間帯を考慮した交通の確保が必要である。

2) 効率的・効果的な生活交通の確保

利用実態・利用目的等の現況をしっかりと把握し、地域の実情に応じた効率的・効果的な運行形態を検討し、生活交通の確保を図る。

(3) 生活交通確保に要する費用負担

交通事業者が運行する路線バス 15 系統のうち、2 系統については県補助対象となることが見込まれるため、バス事業者に対して国・県・町で補助を行う。残りの 13 系統については県補助対象とはならないが、住民の利便性を考慮し町単独で補助を行う。

スクールバス、福祉バス、園児バスについては、町営バスにより運行を行うこととし、経費は町負担とする。

第2章 地域及び公共交通の現状

2.1 地域の現状

(1) 位置、地勢

○阿賀町は新潟県の東部に位置し、県都新潟市から東へ磐越自動車道で約40分、一般国道49号では約70分で町の中心部に到着する距離にあり、町の東側は福島県の県境と接しています。

○町の中央を阿賀野川とその支流の常浪川が流れ、その沿岸の段丘を中心を開けた中山間地域で、中心部は比較的平坦ですが、周辺は急峻な山岳地帯に囲まれており、北に大きく飯豊連峰が広がり、南には越後山脈が南北に走っています。町の面積は952.89km²で、新潟県面積の約7.6%を占めています。また、町内のほとんどが森林となっていましたり、建物用地（住宅地・市街地等で建物が密集している場所）は町の中心部に集中しています。

○気候は、日本海側気候と内陸性気候の特徴を併せ持ち、年間の平均気温は11℃から12℃ですが、年間を通じての気温差が30℃あり、1日の気温差も大きくなっています。また、高温多湿で降雨量も多く、冬の積雪は平坦部で1.5m、山間部で2.5mに達し、根雪期間は12月下旬から3月下旬に及び、特別豪雪地帯に指定されています。



図 阿賀町の位置

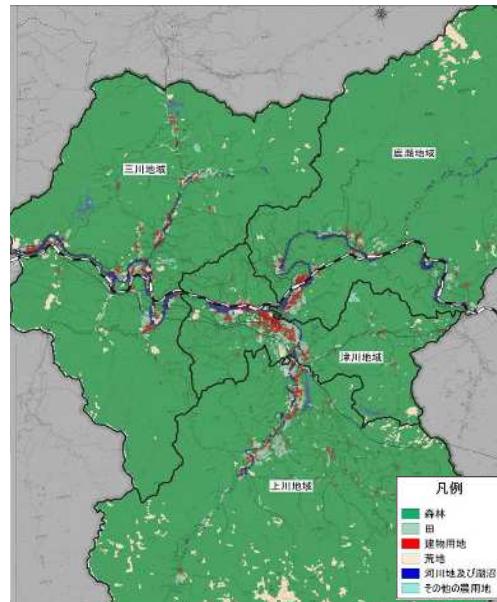


図 阿賀町の土地利用

資料：国土地理院 土地利用細分メッシュデータ(H21)

※土地利用の情報は地球観測衛星の画像上で判読できたものについて表示

(2) 人口

1) 人口分布

- 阿賀町における人口は、中心部である「津川駅・県立津川病院周辺」に最も多く集積しています。次いで、「三川駅周辺」「鹿瀬支所周辺」「上川支所周辺」に多く集積しています。また、町境や山間部など中心部以外にも人口は分布しています。
- 人口は広く分布していますが、バス路線（路線バス・福祉バス・スクールバス）はほぼ全ての集落で運行されています。

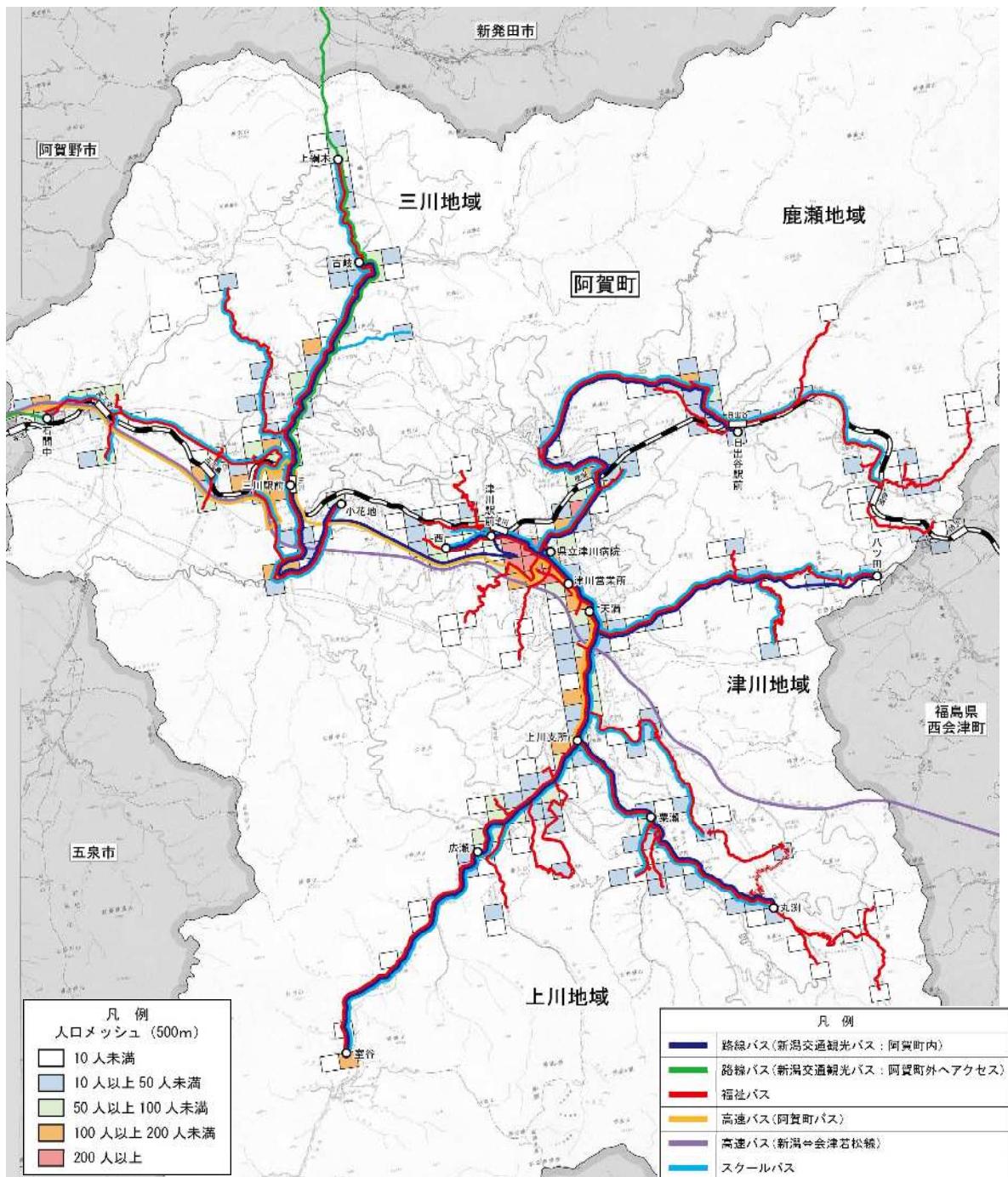


図 人口分布状況

資料：国勢調査(H27)

2) 人口の推移と高齢化

○阿賀町の人口は年々減少傾向にあり、平成 27 年の人口は 11,677 人で昭和 60 年と比較すると、6,849 人（約 37%）の減少となっています。

○高齢者人口の割合は、増加傾向にあり、平成 27 年では高齢化率が 45.3% で、後期高齢者の割合は 28.7% となっています。町の高齢化率は、人口が同規模で阿賀町と同様に県境に位置する自治体と高齢化率を比較すると高い割合となっています。

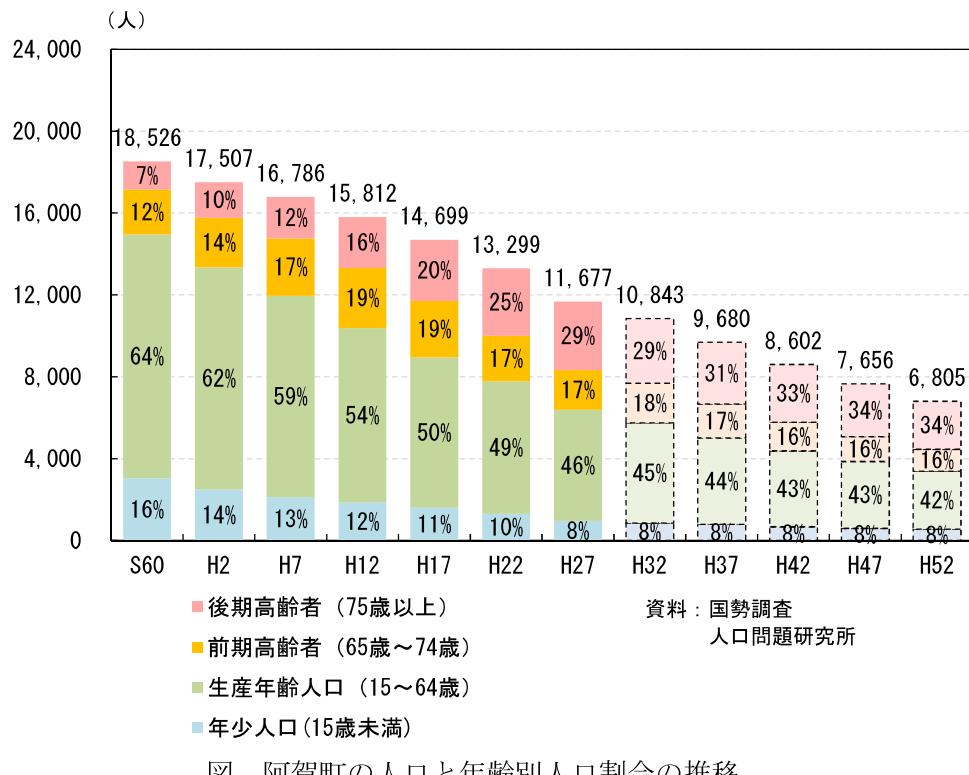


図 阿賀町の人口と年齢別人口割合の推移

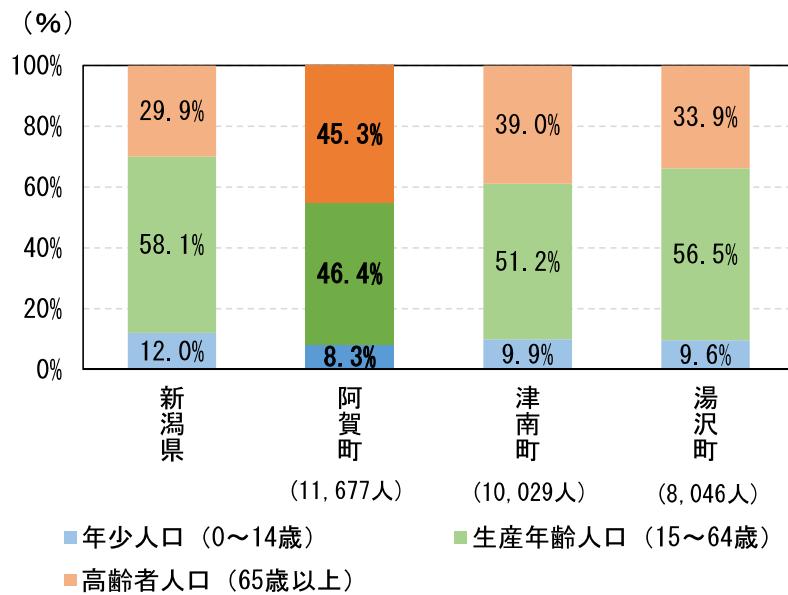


図 新潟県及び人口が同規模で阿賀町と同様に県境に位置する自治体との高齢化率の比較

※年齢不詳を除いた人口を掲載

資料：国勢調査(H27)

3) 一人暮らしの高齢者

○阿賀町の高齢者のみの世帯数は全体の37%を占めており、中でも1人暮らしの高齢者は、19%です。地域別にみると、鹿瀬地域で約半数が高齢者のみの世帯となっています。

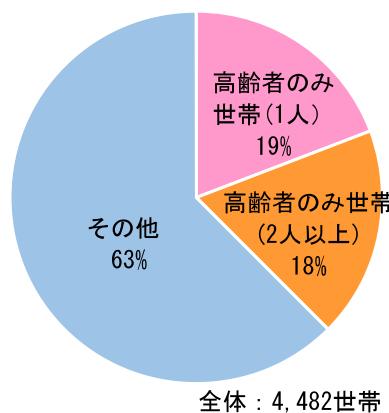


図 高齢者世帯数の割合

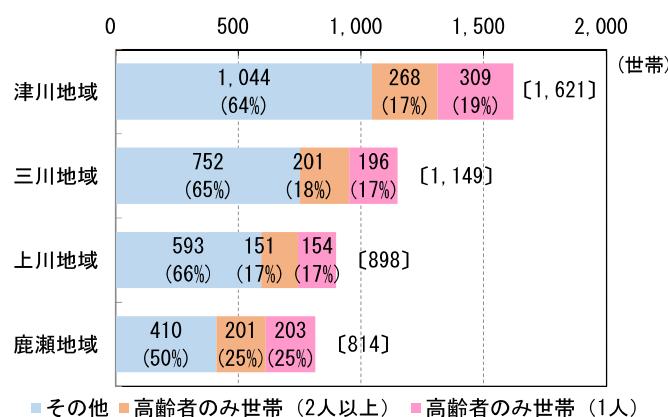


図 各地域の高齢者

資料：国勢調査(H27)

4) 年齢の分布

①高齢者

○全ての集落において高齢化率（65歳以上の人口割合）は30%以上となっています。

また、町の東部は、高齢化率が高い（50%以上）傾向があります。

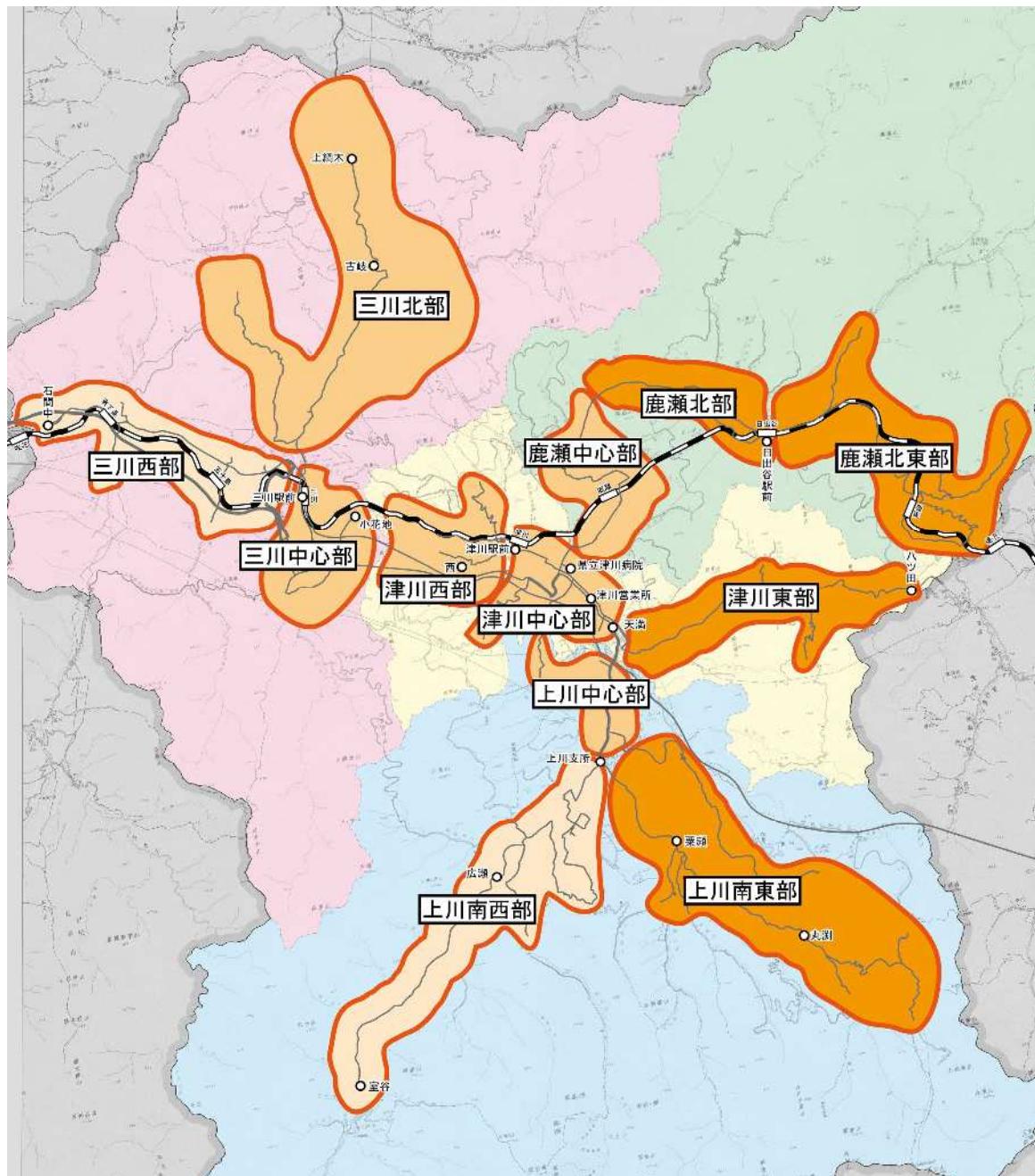


図 高齢者の人口分布

資料：住民基本台帳（H29.3）

②15歳未満

○全ての集落において15歳未満の人口割合が10%未満となっています。

○特に、町の東側は5%を下回っています。

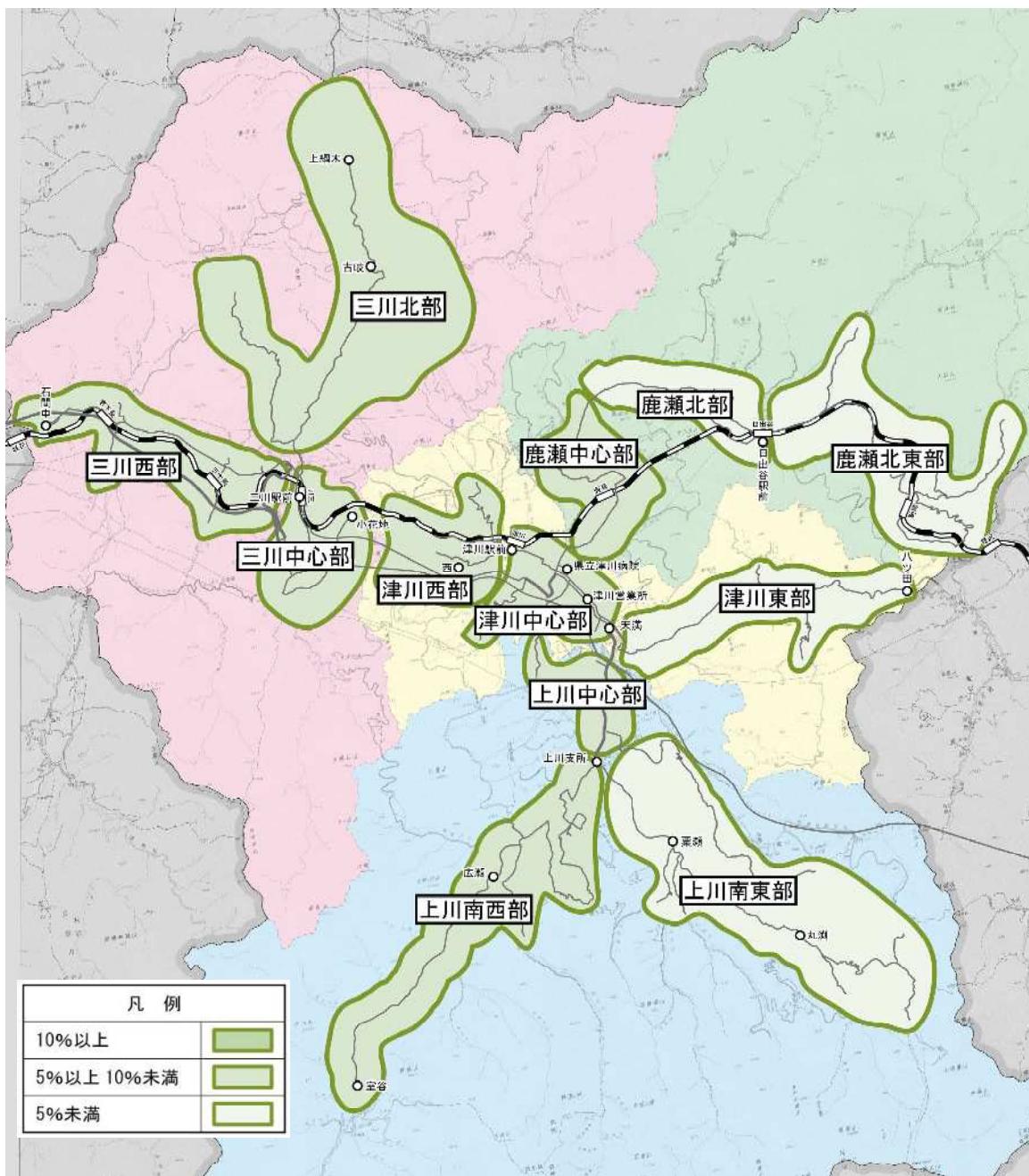


図 5歳～15歳未満の人口分布

資料：住民基本台帳（H29.3）

(3) 自動車・免許の保有状況

1) 自動車の保有状況

○阿賀町の自動車保有台数は、人口減少と同様に減少していますが、人口ほど大きな減少ではなく、平成 28 年では 10,225 台となっています。

○年齢別の自動車の保有率は、20 歳代～64 歳の町民は 94% が、65 歳～74 歳は 85% が自動車を保有しています。また、75 歳以上の後期高齢者も 55% が自動車を保有しています。

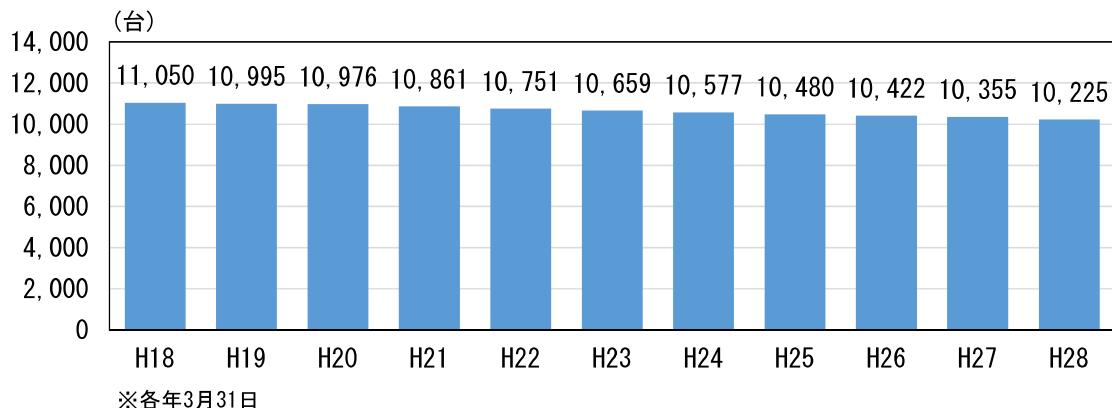


図 阿賀町の自動車保有台数の推移

資料：北陸信越運輸局新潟運輸支局「新潟県運輸概況」

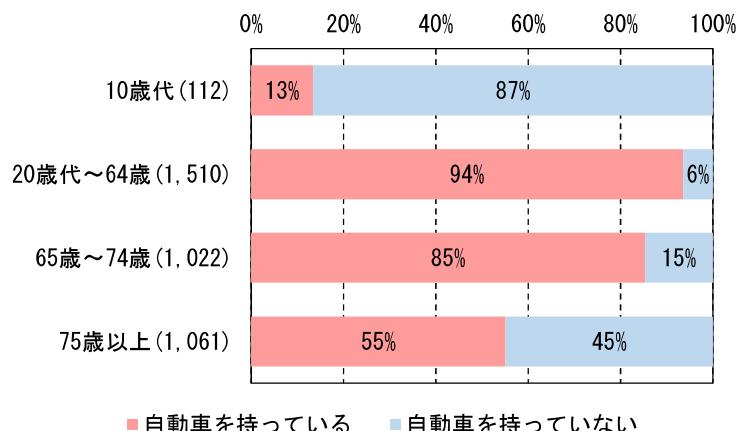


図 年齢別の自動車保有状況

※ () 内の数字は回答者数

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

2) 免許の保有状況

○運転免許保有者は、平成 28 年で 7,384 人であり、同年の自動車保有台数は 10,225 台のため 1 人 1 台以上の自動車を保有しています。

○免許の保有率は、20 歳代～64 歳の町民は 95% が、65 歳～74 歳は 85% が自動車を保有しています。また、75 歳以上の後期高齢者も 56% が自動車を保有しています。

○地域別では、鹿瀬北部地域と上川地域南西部は免許を持たない人が多いです。

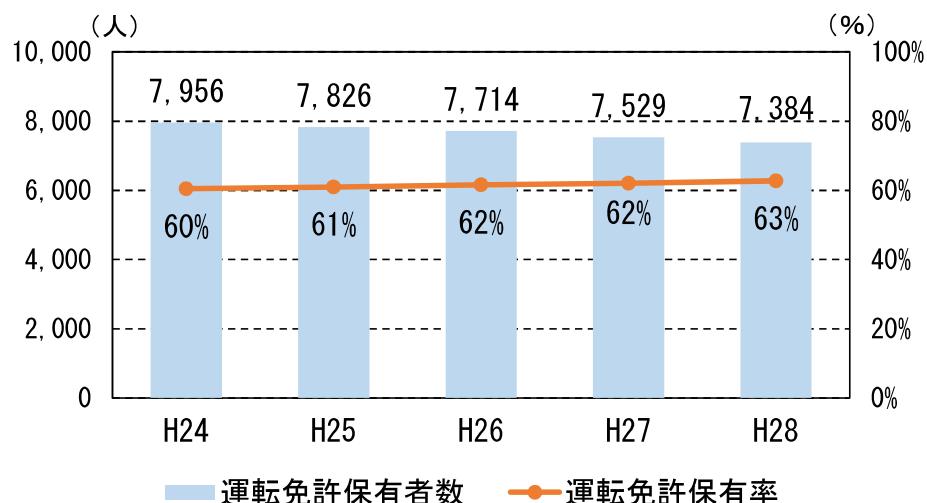


図 阿賀町の運転免許保有者数

資料：津川警察署資料

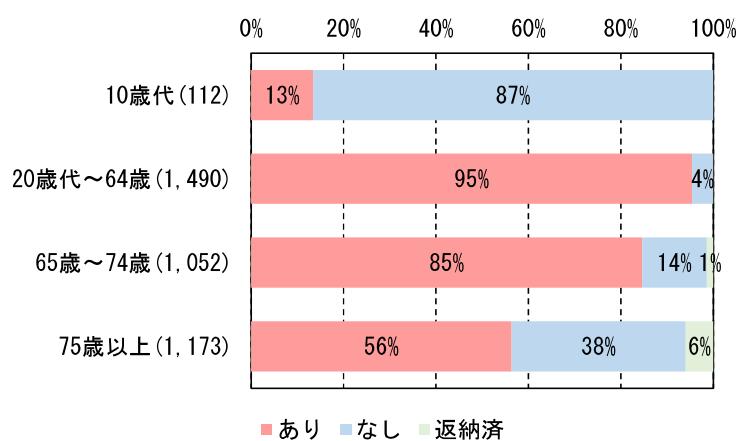


図 阿賀町の運転免許保有者数

※ () 内の数字は回答者数

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

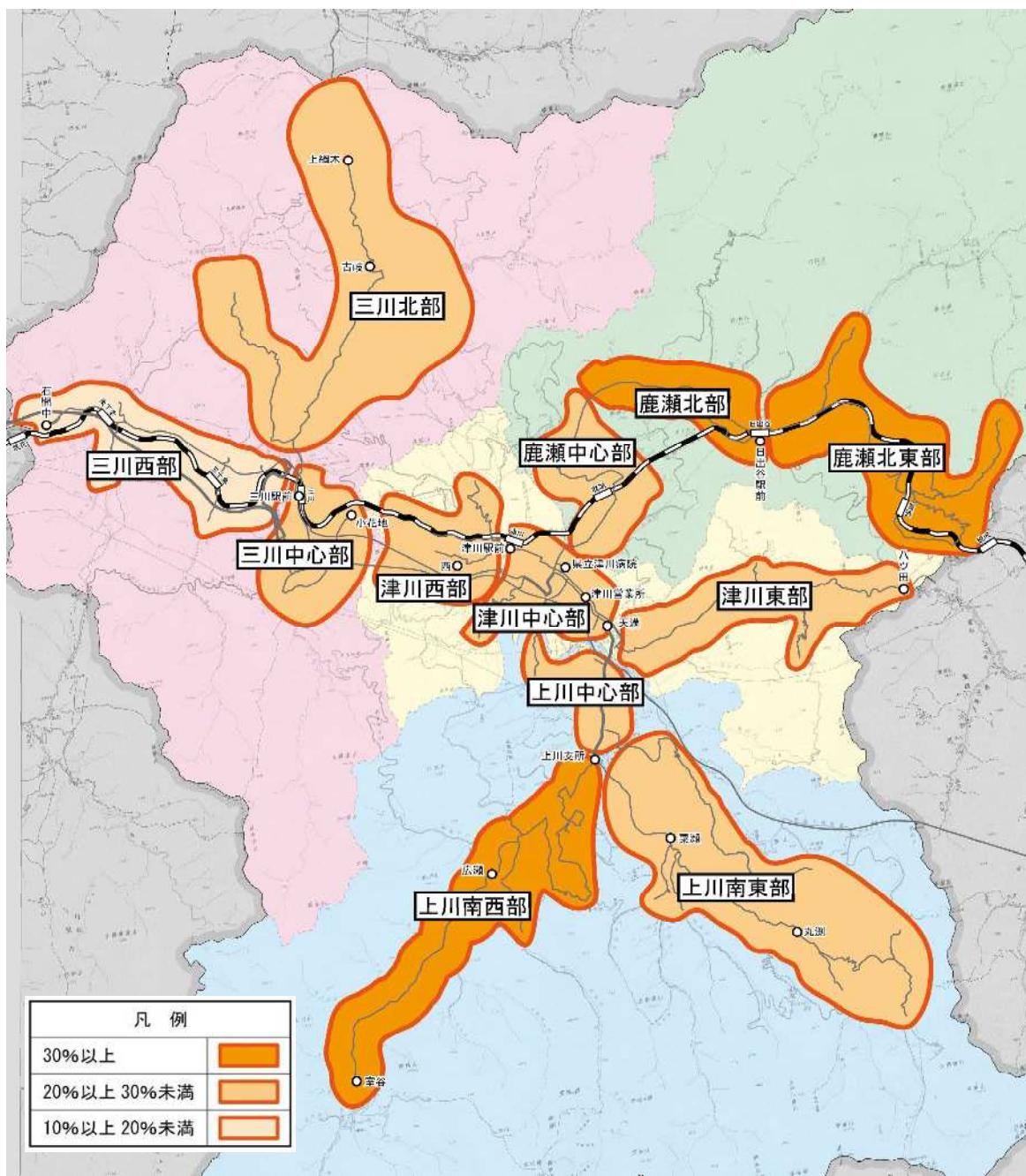


図 運転免許証を持っていない割合（地域別）

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

3) 運転免許の返納状況

○運転免許の返納者は平成 27 年以降増加していますが、阿賀町では平成 29 年 11 月時点
で運転免許返納支援事業は実施していません。

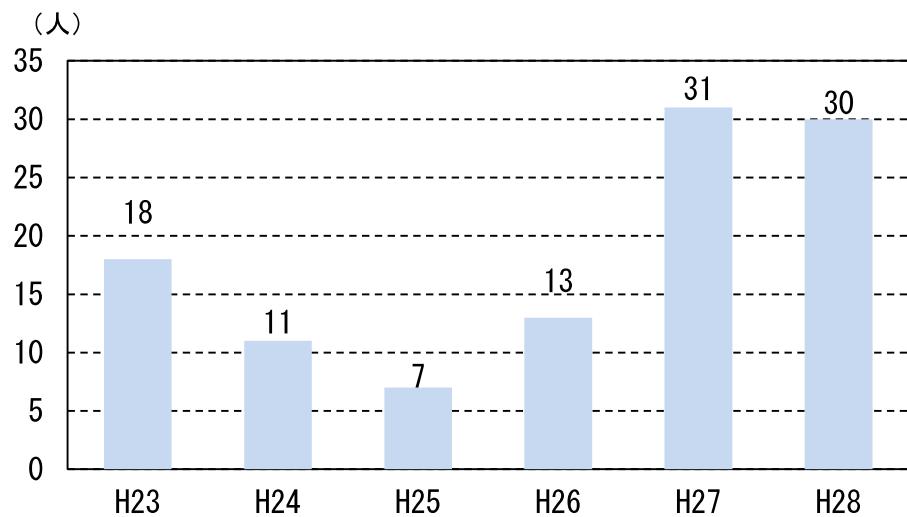


図 免許返納者数の推移

資料：津川警察署資料

(4) 高齢者の事故

○町内の交通事故発生件数は平成 24 年と比較して減少傾向にあります。また、高齢運転者が加害者となった交通事故発生割合は、平成 28 年は他の年と比較して微減していますが、平成 27 年は 42% (24 件中 10 件) となっています。

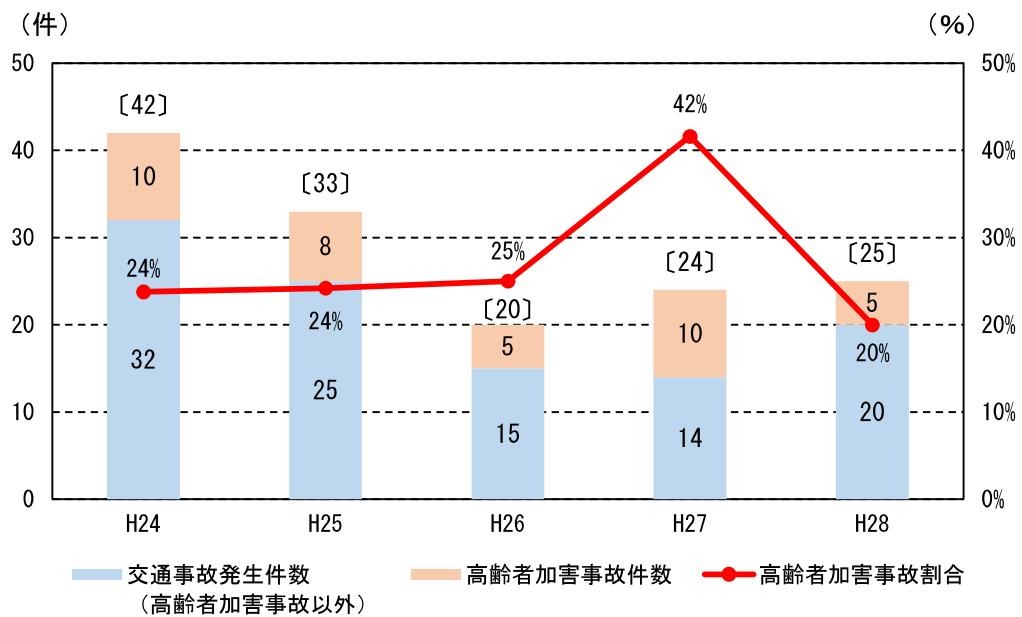


図 阿賀町の交通事故と高齢者加害事故の割合

資料：津川警察署資料

(5) 町外への移動

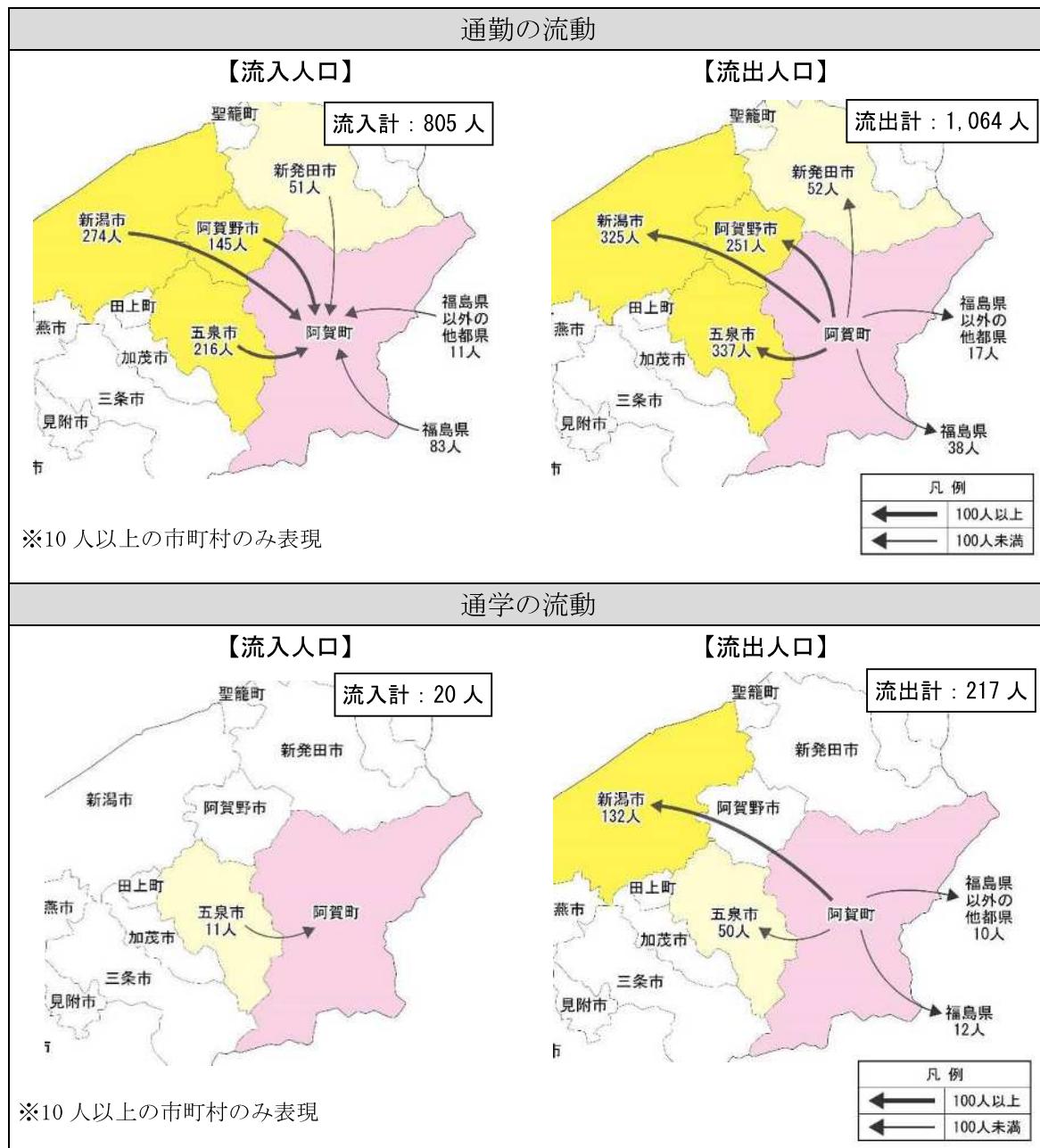
1) 通勤・通学の実態

■就業者と通学者の流动 (H27 国勢調査)

○町外への通勤は、新潟市が最も多く、流入人口と流出人口を合わせて 599 人となって います。

○15 歳以上の人口のうち、9.9%が町外へ通勤しています。※15 歳以上人口 : 10,712 人

○高校生は 217 人が町外へ通学しており、その多くが新潟市へ通っていますが、福島県にも 12 人が通っています。



資料 : 国勢調査 (H27)

■就業者と通学者の移動手段

○自家用車が 82%と他の移動手段と比較して非常に高くなっています。一方で他の移動手段は全て 10%未満となっています。公共交通のなかでは鉄道・電車が 5%で最も多くなっています。

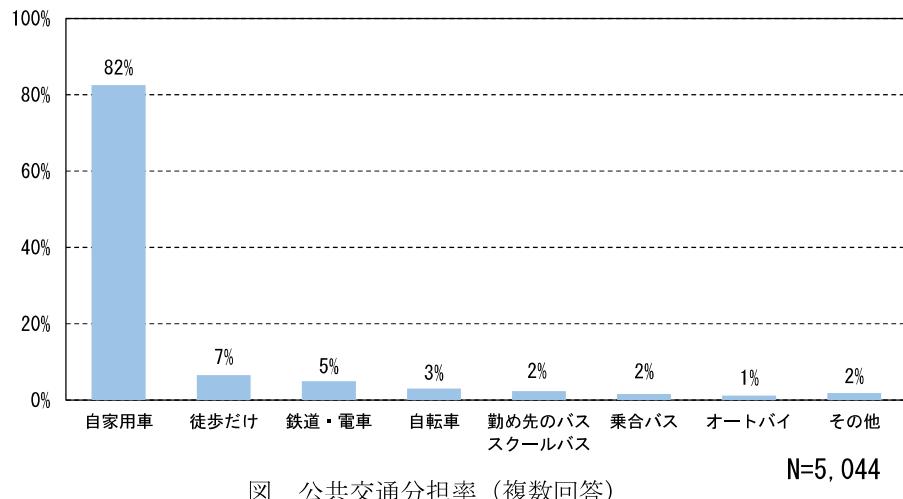


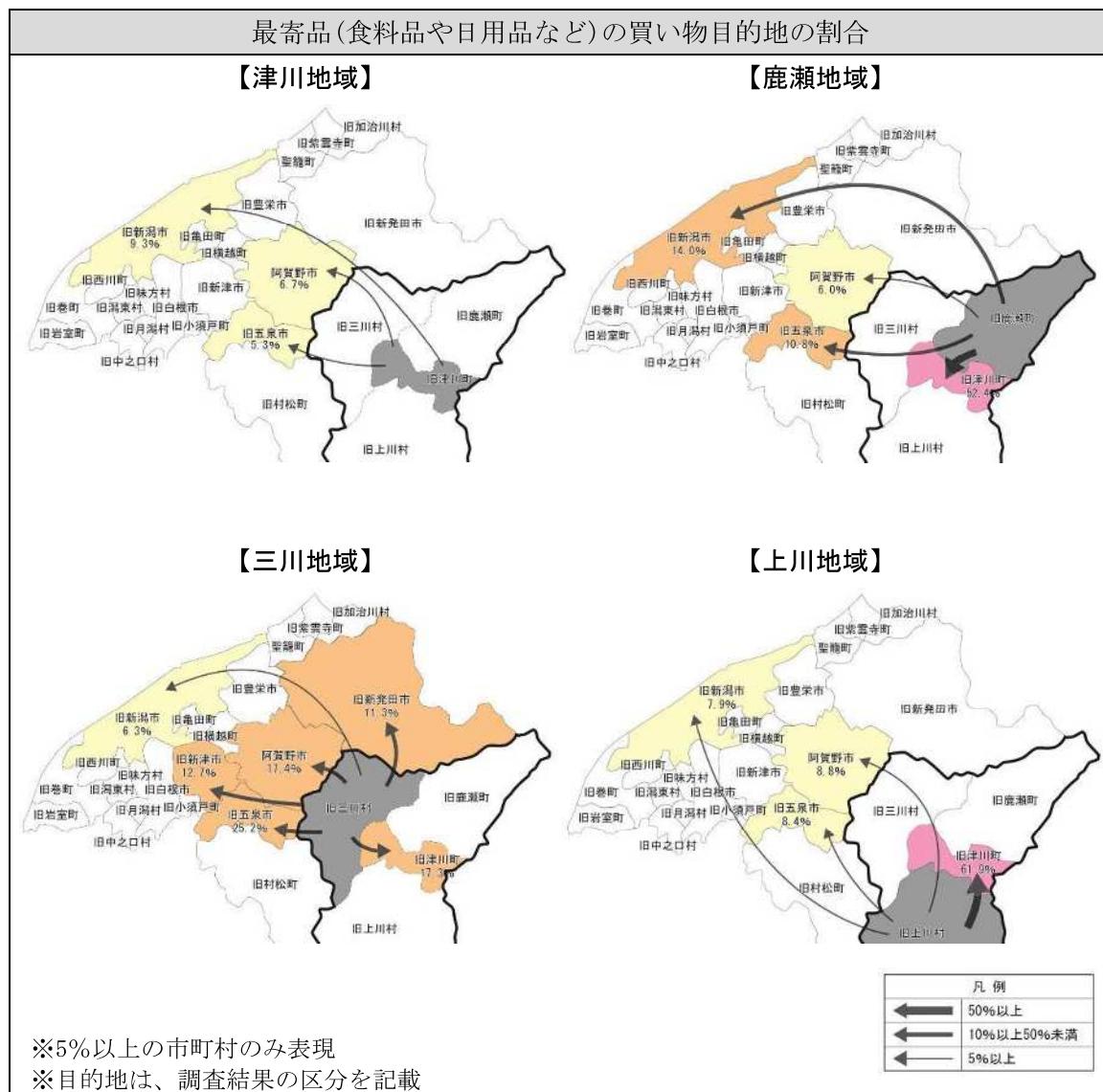
図 公共交通分担率（複数回答）

※Nは回答者数を意味する

資料：国勢調査(H22)

2) 買い物の目的地

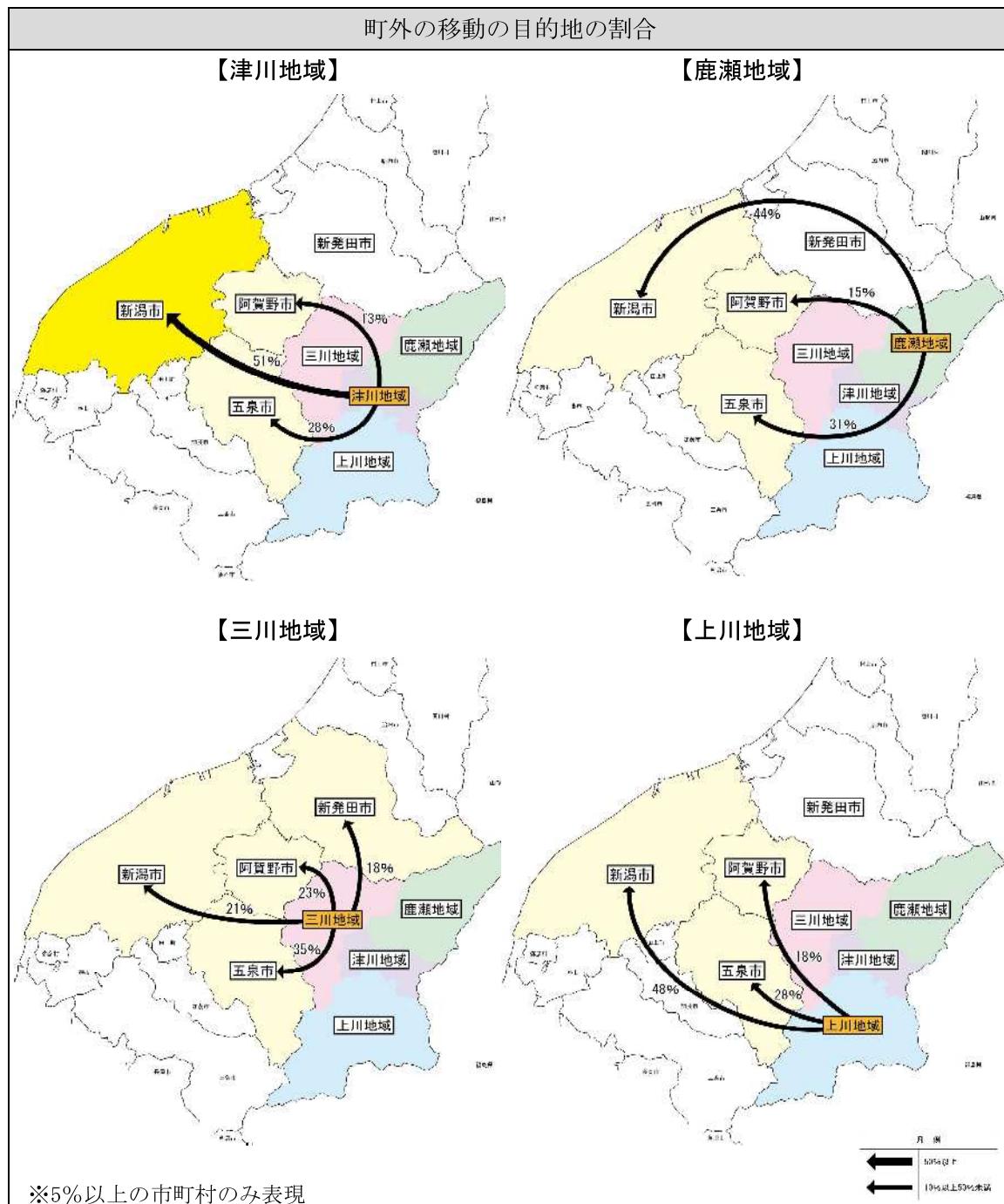
- 買い物は、旧新潟市へ向かう割合が各地区とも5%以上を占めており、中でも鹿瀬地域は14%を占めています。
- 三川地域の買い物は、地域が隣接し行き来しやすいことから、旧新潟市その他、旧五泉市、阿賀野市、旧新発田市の割合が10%以上を占めています。
- 上川地域は、県内の周辺市町村と交通網で直接結ばれていないため、町の中心部である津川地域の割合が50%以上を占めています。



資料：平成28年度中心市街地に関する県民意識・消費動向調査報告書(新潟県)

3)町外への移動

○町外への移動は、どの地域も新潟市、五泉市、阿賀野市が多くなっていますが、三川地域は五泉市への移動が最も多く、他の地域とは異なり新発田市へ行く町民が18%います。その他の地域は新潟市が最も多くなっています。



資料：平成29年阿賀町住民アンケート調査

(6) 各施設の立地状況

1) 立地状況

①主な施設

○支所周辺には、役場の他、診療所、郵便局がありますが、かわちやスーパー（商業施設）、県立津川病院（医療施設）、銀行金融機関など阿賀町の主な施設は津川地域に集中しています。

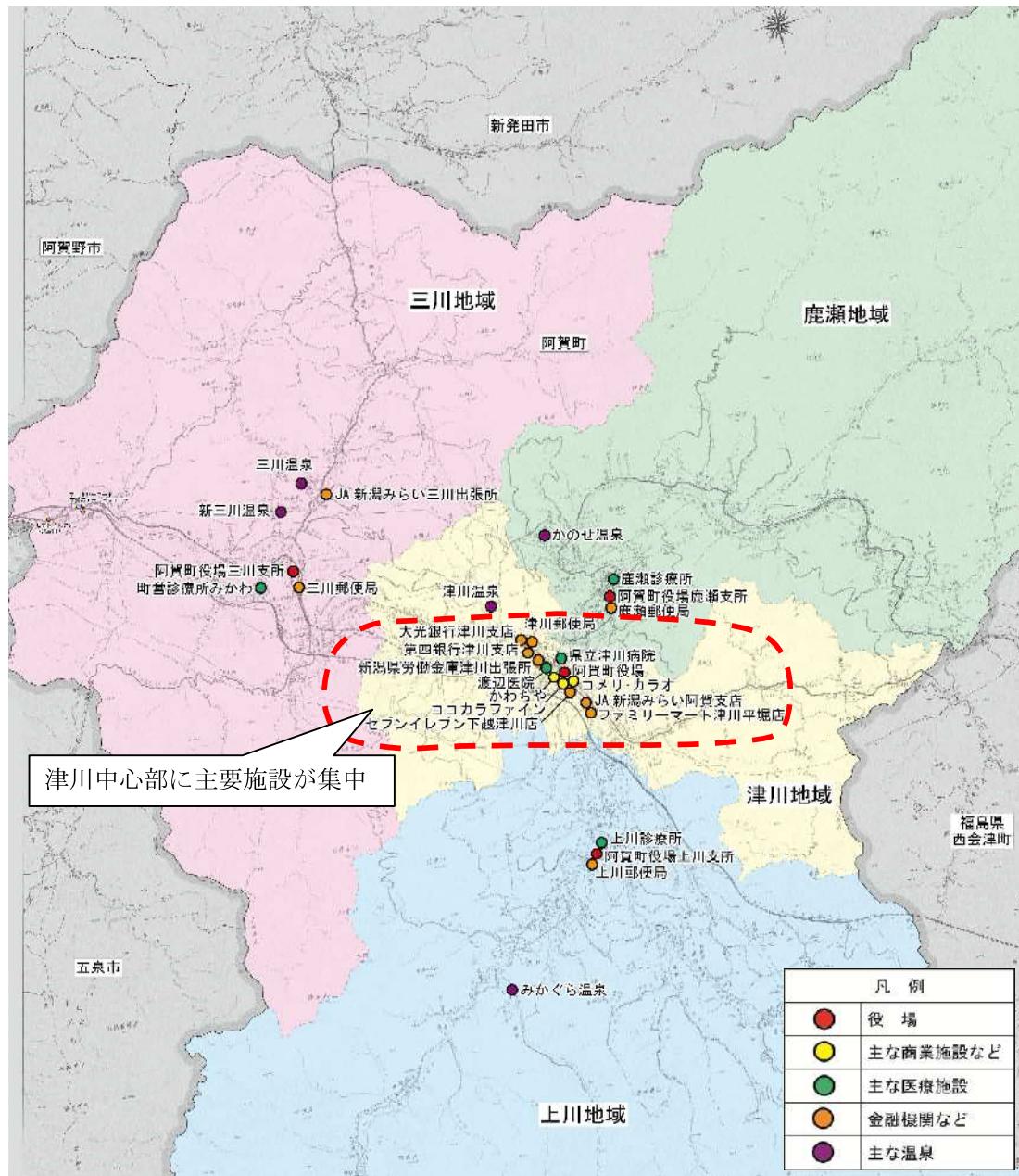


図 主な施設の立地状況

資料：五泉市東蒲原郡医師会ホームページ
平成 28 年度中心市街地に関する県民意識・消費動向調査報告書 など

②学校（小学校・中学校・高校）

○全ての地域に小学校はありますが、鹿瀬地域と上川地域には中学校はありません。また、高校は津川地域の1校のみとなっています。

○平成31年度に津川地域の「三郷小学校」と鹿瀬地域の「鹿瀬小学校」、「日出谷小学校」は「津川小学校」に統合する予定です。また、上川地域の「西川小学校」、「上条小学校」は「上川小学校（位置は上条小学校）」に名称を変更して統合する予定となっています。

○平成30年度には、阿賀黎明中学校を募集停止とする予定となっています。（高等学校は募集継続）

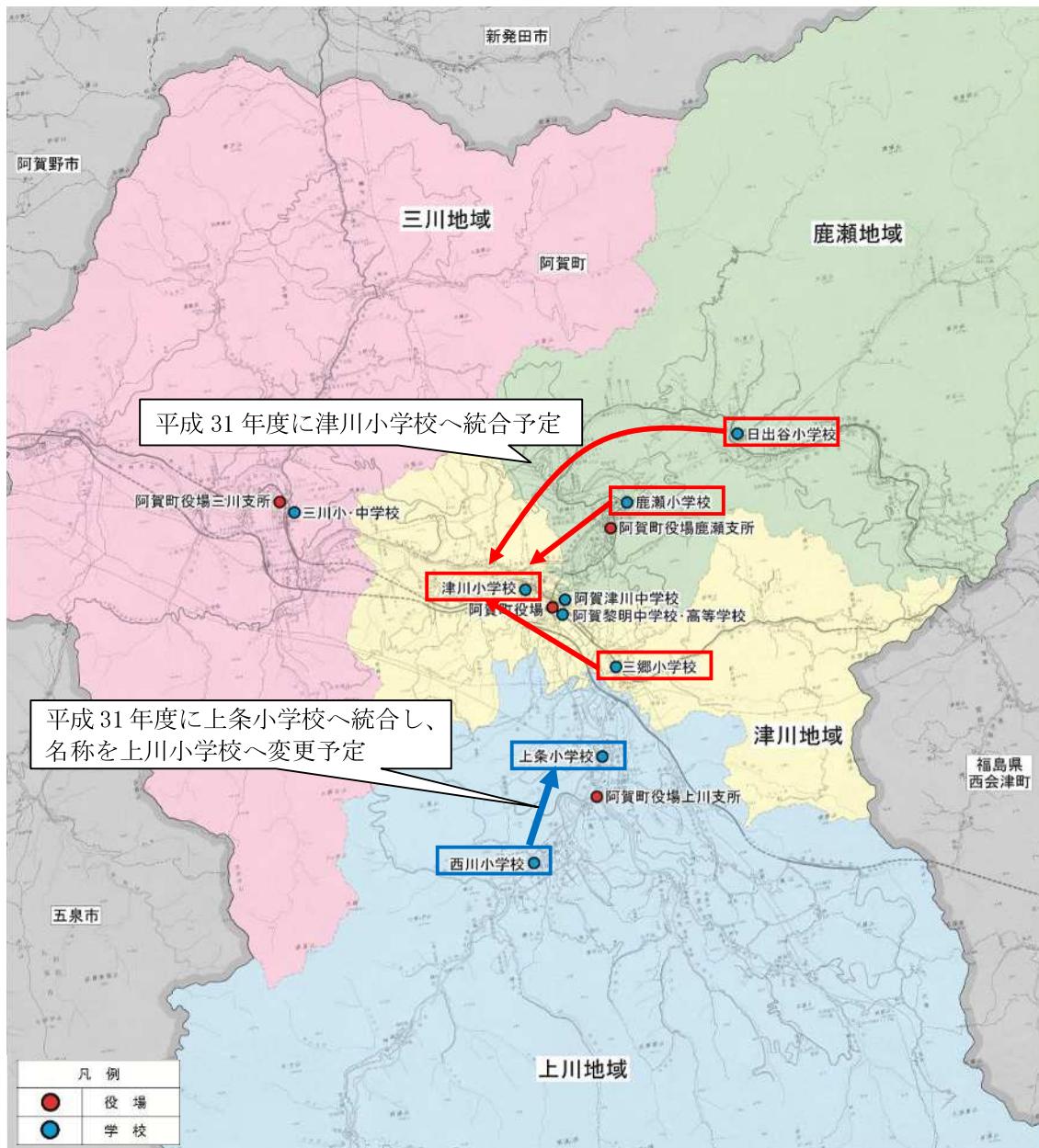


図 学校の立地状況

資料：市町村教育委員会・学校一覧・学校統廃合状況（H29.4.1）
平成29年度～平成31年度県立高校等再編整備計画（H28.6）

2)町内における移動状況

①通院

○通院は、どの地域も津川地域への移動が多くなっていますが、地域内の医療機関へ行く住民もいます。

○目的地となる施設は、どの地域も県立津川病院が最も多く、次いで地域内の医療機関が多くなっています。

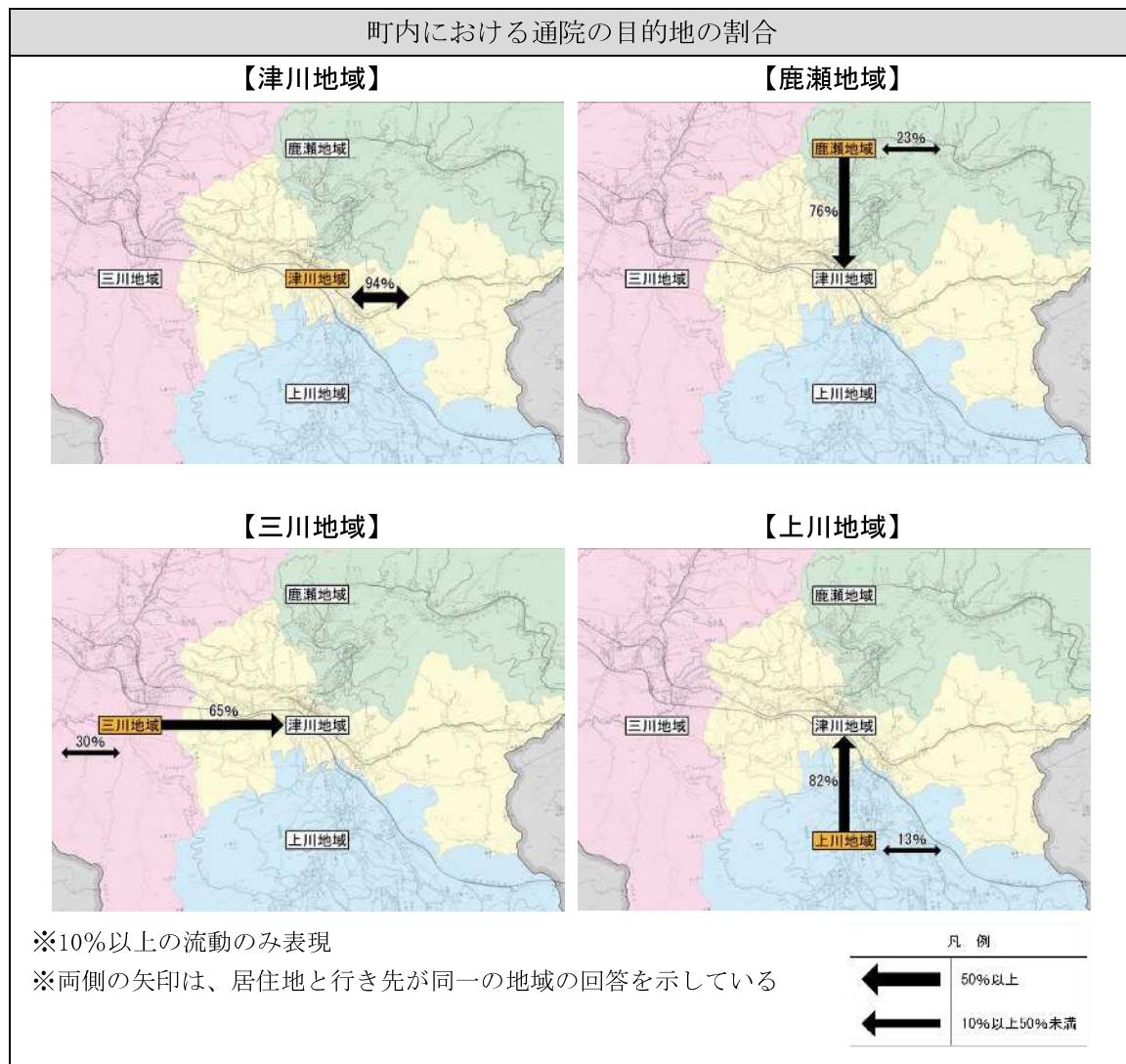


表 地域別の主な目的地

地域	施設名
津川地域	県立津川病院、渡辺医院
三川地域	県立津川病院、みかわ診療所
鹿瀬地域	県立津川病院、鹿瀬診療所
上川地域	県立津川病院、上川診療所

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

■参考：通院における各地域の流動（詳細）

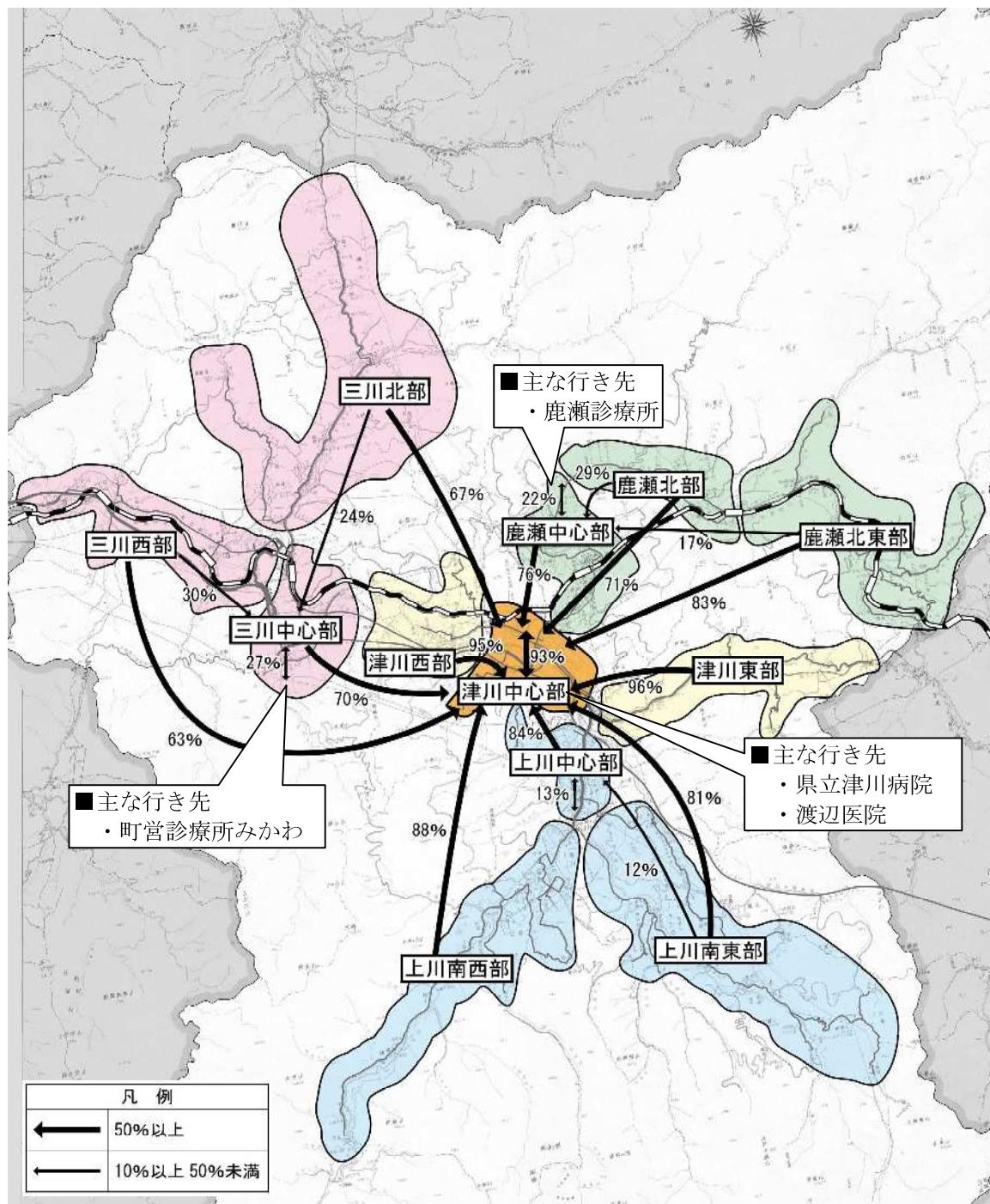


図 通院の流動状況

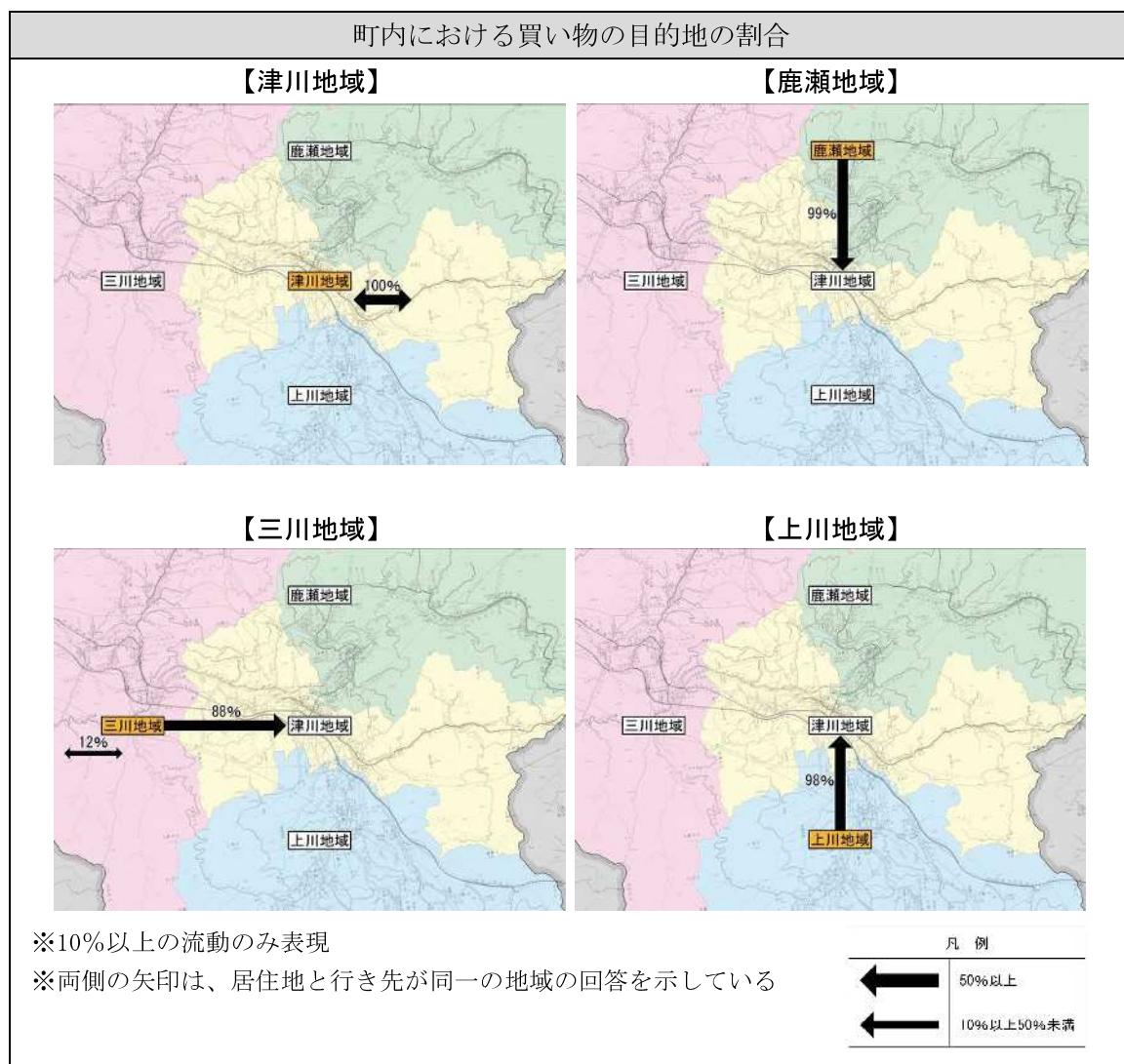
※母数は各集落別としている

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

②買い物

○買い物は、どの地域も津川地域への移動が多くなっています。

○目的地となる施設は、どの地域もカラオ・コメリ、かわちやが多くなっています。



資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

■参考：買い物における各地域の流動

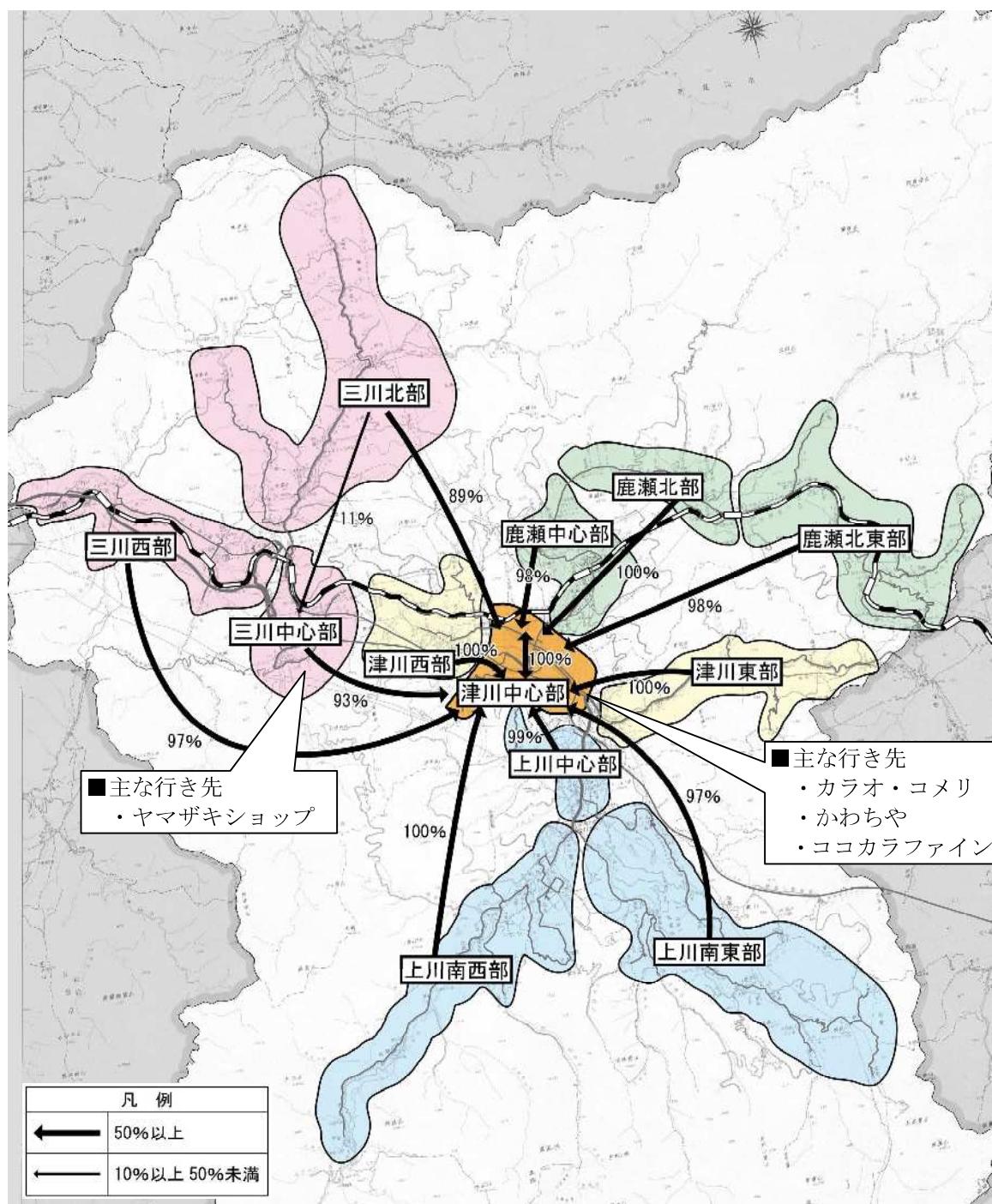


図 買い物の流動状況

※10%以上の流動のみ表現

※母数は各集落別としている

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

【町内における公共交通利用者の外出先】

1) 通院

○路線バス利用者も福祉バス利用者も県立津川病院が他の医療施設と比較して多くなっています。他には、津川地域の渡辺医院や鹿瀬地域の鹿瀬診療所、三川地域の町営診療所みかわが回答されています。

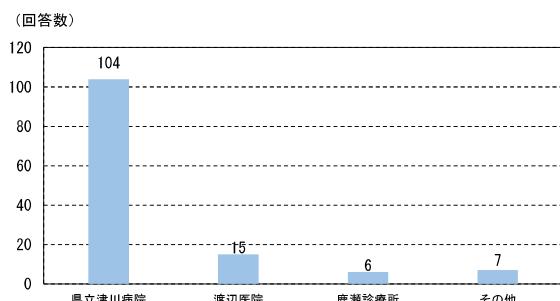


図 路線バス利用者の行き先（複数回答）

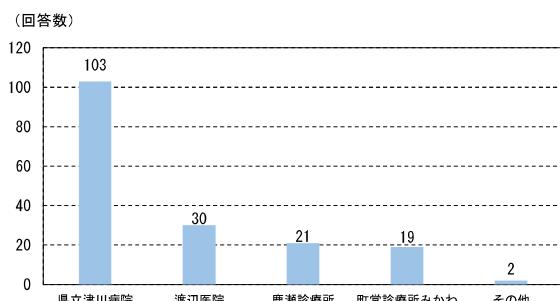


図 福祉バス利用者の行き先（複数回答）

※通院する際の交通手段の設問は、複数回答のため同じ人の回答が路線バスと福祉バスの両方に含まれている場合もある

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

2) 買い物

○路線バス利用者も福祉バス利用者もカラオ・コメリが他の商業施設と比較して多くなっています。また、回答のほぼ全てが津川地域内の商業施設となっています。

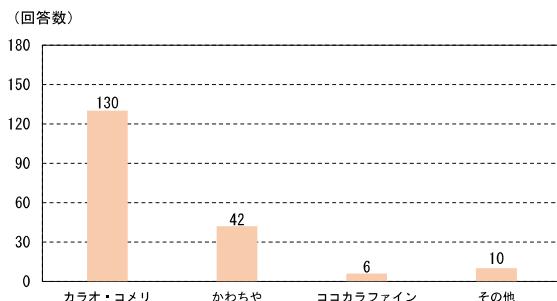


図 路線バス利用者の行き先（複数回答）

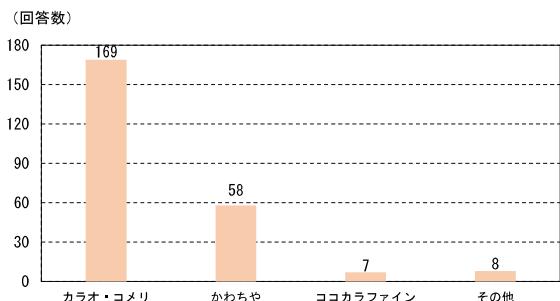


図 福祉バス利用者の行き先（複数回答）

※カラオ、コメリは隣接しているため 1 つの施設として集計

※買い物する際の交通手段の設問は、複数回答のため同じ人の回答が路線バスと福祉バスの両方に含まれている場合もある

資料：平成 29 年阿賀町住民アンケート調査

(7) 主な観光施設について

1) 主な観光地の立地と入込客数

○観光入込客数の推移は、減少傾向にあり、平成 27 年は平成 23 年と比較して約 174 千人（約 14%）減少しています。

○観光地の立地を見ると、公共交通で移動する場合は福祉バスでしか行く事ができない施設があり、休日の利用ができない状況となっています。また、観光地までバスが運行していない観光地もあります。

※福祉バスは平日のみ運行

表 主な施設等の観光入込客数（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27
みかぐら温泉	66,292	72,975	—	53,000	67,180
三川温泉	101,469	98,709	98,700	95,270	86,110
かのせ温泉	87,573	91,474	94,810	94,560	94,930
津川温泉	58,359	62,197	69,920	65,390	73,240
麒麟山公園	—	51,600	—	—	—
きのこ狩り	130,603	113,900	111,500	—	—
阿賀野川ライン	354,370	456,090	441,000	436,000	451,180
阿賀の夏祭り	—	50,000	56,000	—	—
阿賀の大収穫祭	—	57,000	111,500	—	—
狐の嫁入り屋敷	15,928	24,738	22,783	21,826	22,014

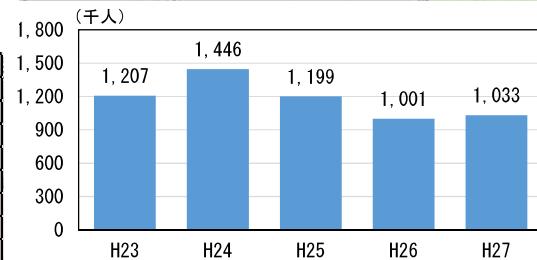


図 観光入込客数の推移



図 町内の主な観光地の立地状況

※主な施設等の観光入込客数は狐の嫁入り屋敷を除いて年間 5 万人以上の観光地点のうち公表可能なものを掲載、きのこ狩りの施設立地は、阿賀町旅紀行に記載があるものを掲載

※阿賀の里では「阿賀野川ライン（4 月～12 月）」、「阿賀の夏祭り（8 月）」、「阿賀の大収穫祭（10 月、11 月）」を実施

資料：新潟県観光入込客統計
阿賀町（狐の嫁入り屋敷）

2) S Lばんえつ物語号

- S Lばんえつ物語号は新潟市から会津若松までの間約 126km を五泉市、阿賀町、西会津町、喜多方市の駅に停車しながら運行しています。運行日は4月末～11月末の毎週土日祝日に運行しています（一部運行していない日もあり）。
- 町内には津川駅、三川駅、日出谷駅で停車していて、阿賀町内の降車人数は、会津若松市、新潟市、喜多方市に次いで多いです。



図 S Lばんえつ物語号

表 平成 28 年度の降車人数

自治体	降車人数
会津若松市	約 12,600 人
喜多方市	約 3,400 人
西会津町	約 400 人
阿賀町	約 3,000 人
五泉市	約 1,500 人
新潟市	約 10,300 人

※降車人数は津川駅、三川駅、日出谷駅の合計

資料：阿賀町（降車人数）

(8) 移動販売の実態

- 阿賀町は道の駅「阿賀の里」と協働で、買い物支援の一環として主に足腰が悪く商業施設へ行く事が難しい高齢者のために各地域で週1回移動販売を実施しています。また、民間業者も同様に、町内の各集落で移動販売を実施しています。
- 実施箇所は、集落の要望を踏まえて、人口が集中している集落から人口が少ない集落まで幅広く実施しています。
- 1日の利用者は約18人（各地域平均、平成29年7月～8月）となっています。

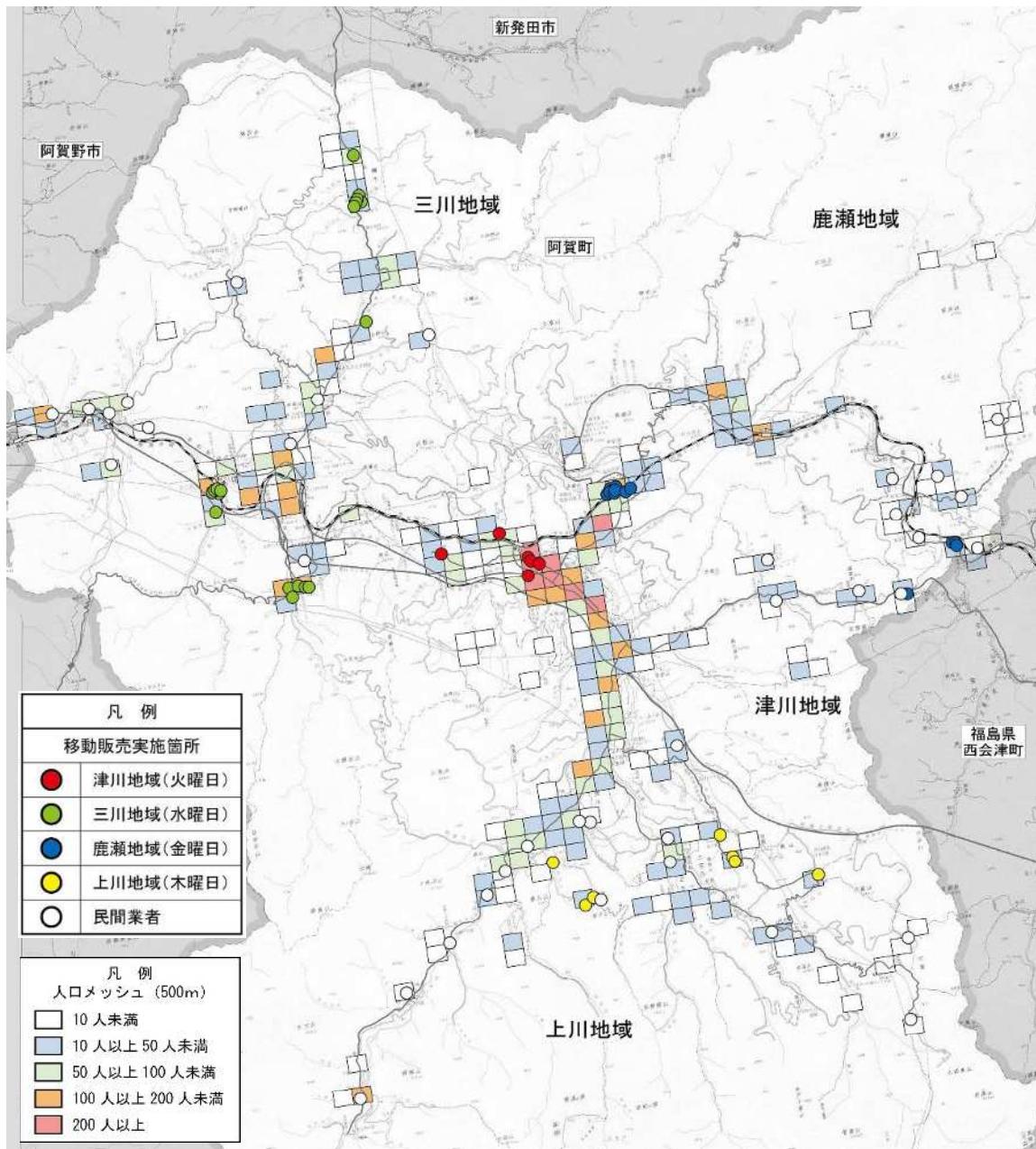


図 移動販売の実施状況

※鹿瀬地域の移動販売は、同日に津川地域の一部の地域（八ツ田）でも実施

資料：阿賀町

2.2 公共交通の現状

(1) 公共交通網

○阿賀町の公共交通網は、鉄道は東西方向に、バスは津川駅や三川駅を中心に放射状に公共交通網が形成されています。

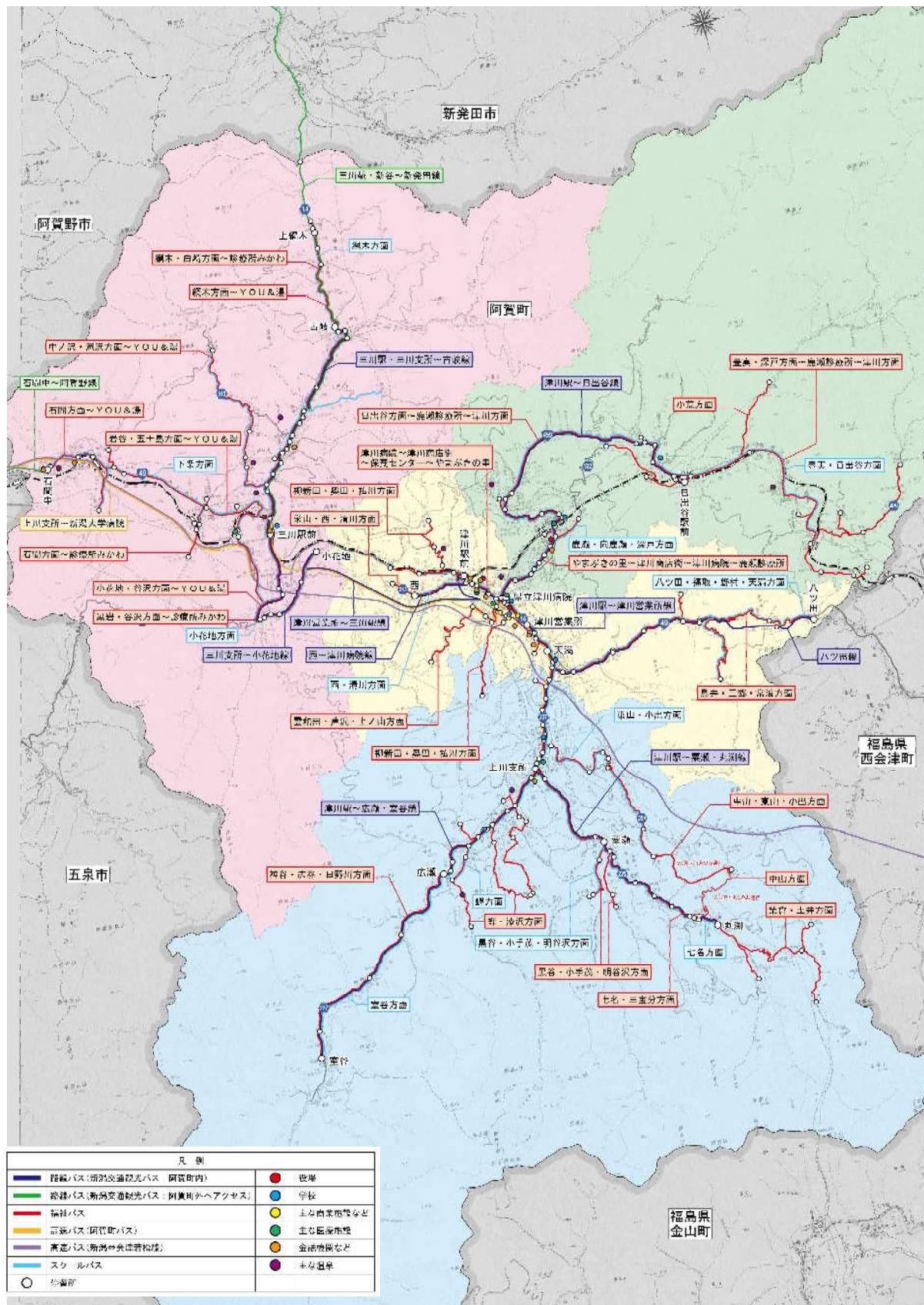


図 阿賀町の公共交通網

(2) 鉄道

1) 運行内容と利用状況

○鉄道は、東日本旅客鉄道株式会社が運営・運行する路線で、新潟駅方面と会津若松駅方面を結ぶ磐越西線が運行しており、7駅が立地しています。また、町内の駅は、津川駅を除いて全て無人駅となっています。

○運行本数は、津川駅からは1日に19本運行されており、快速列車が運行する路線となっています。

○津川駅の1日の平均乗車人員の推移を見ると、平成28年度は171人となっており、平成20年度の202人と比較して31人(約15%)の減少となっていますが平成23年度からは利用者は横ばいとなっています。また、駅内にある跨線橋にはエレベーターなどの設備がありません。

○朝の津川駅は、多くの車両が送迎のために駅前に集中します。



図 鉄道網

表 鉄道の運行本数 (津川駅、平日)

	各駅停車本数	快速列車本数	合計運行本数
新潟駅方面	7本	1本	19本
会津若松方面	10本	1本	

(H29.9現在)

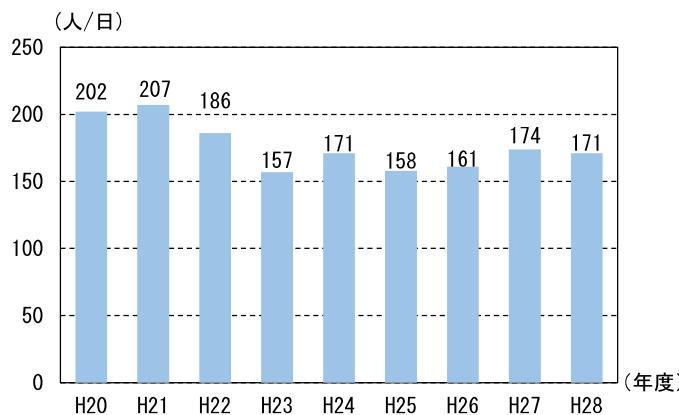
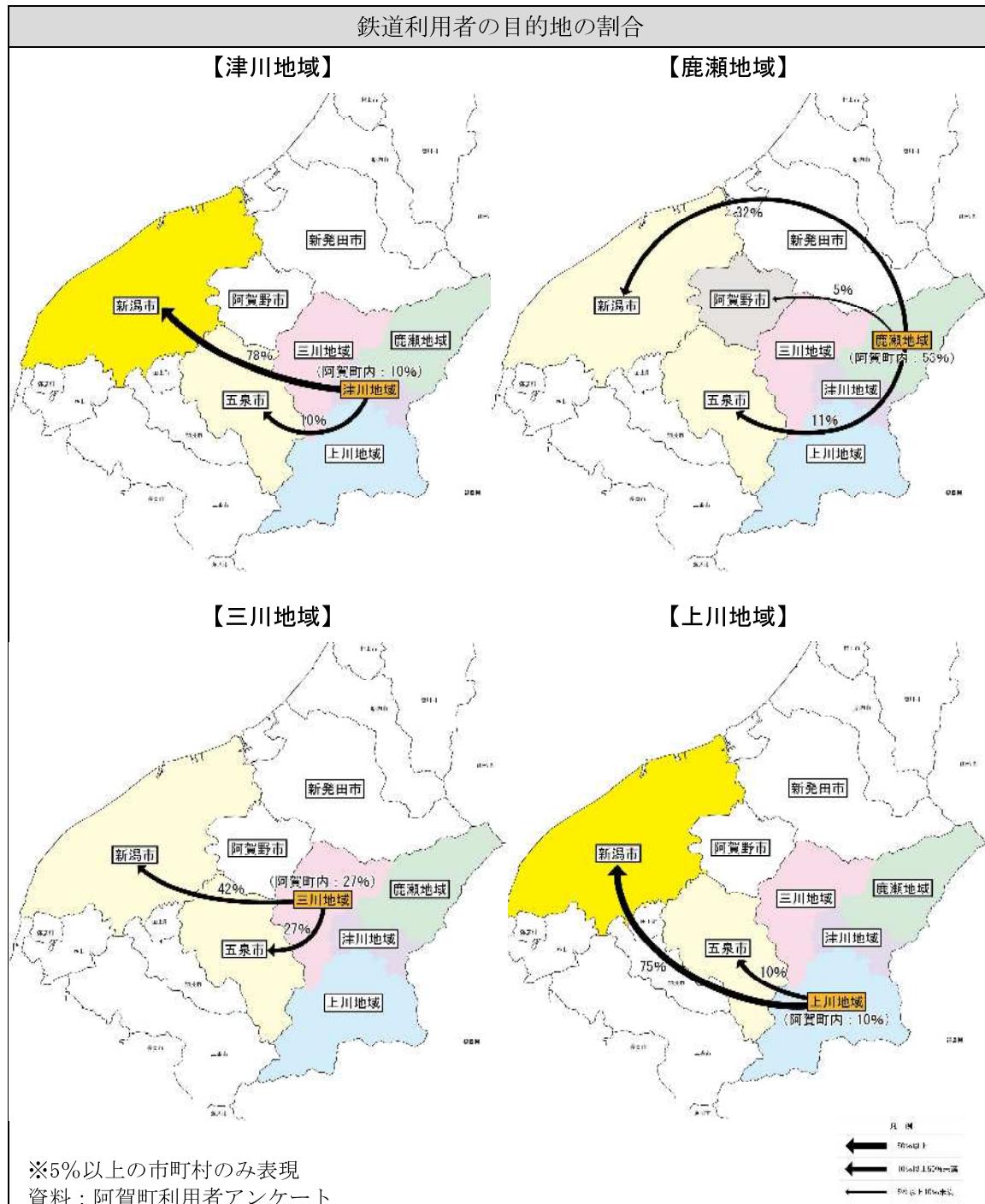


図 朝の津川駅の様子 (7:00頃、H29.7)

資料：JR 東日本ホームページ（無人駅の乗車人員は非掲載）

2) 鉄道利用者の移動状況

- 鉄道利用者の外出先は、鹿瀬地域は町内が最も多く、その他の地域は新潟市が最も多くなっています。
- 阿賀野市や新発田市など乗り換えが必要な近隣市町村の利用は少ないです。



(3) バス

1) 路線バス

① 運行状況と利用者数の推移

○新潟交通観光バス株式会社が運営・運行する路線バスは、津川駅や三川駅を中心とした放射状に各地域の幹線沿いを運行しています。

○町の中心部では津川駅から郊外に行く便も同じルートを通るので、町の中心部を運行するバスの本数は40便以上となっていますが、町の中心部から離れるほど運行便数は少なくなっています。

○利用者は年々減少し続けており、平成28年の1日あたりの利用者数は、平成20年と比較して、208人/日（約43%）減少しています。また、利用者の減少に伴い運賃収入も年々減少し、平成28年度では約1,200万円（平成20年度の半分以下）となっています。行政負担額も年々増加し、平成28年度では約7,800万円（平成20年度の約1.4倍）となっています。

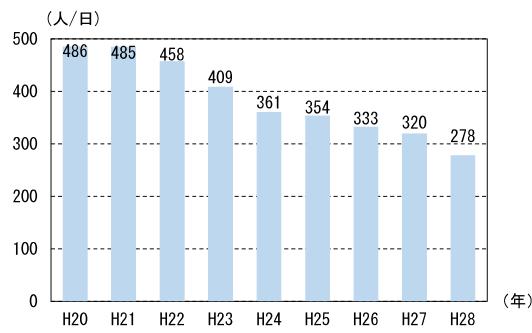


図 路線バスの乗車人数（平日、各年6月調査）

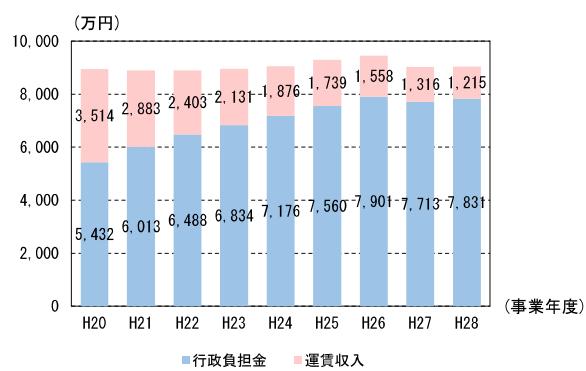


図 運賃収入と行政負担額

※乗車人数は各年6月の平日5日間に実施した調査結果

※事業年度とは、「前年10月から9月まで」を示す

資料：新潟交通観光バス(株)

表 路線バスの運行便数（平日）

主な行き先	路線名	運行本数			最大運賃
		駅方面行	郊外方面行	合計	
津川方面	八ツ田線	3便	3便	6便	570円
津川方面	津川駅～津川営業所線	5便	1便	6便	190円
津川方面	津川営業所～三川駅	2便	2便	4便	490円
津川方面	西～津川病院線	2便	1便	3便	200円
三川方面	三川駅・三川支所～古岐線	8便	7便	15便	390円
三川方面	三川支所～小花地線	6便	5便	11便	340円
鹿瀬方面	津川駅～日出谷線	3便	3便	6便	650円
上川方面	津川駅～広瀬・室谷線	6便	6便	12便	800円
上川方面	津川駅～栗瀬・丸渕線	5便	5便	10便	690円
阿賀野市方面	石間中～阿賀野線	3便	3便	6便	550円
新発田市方面	三川駅・新谷～新発田線	3便	3便	6便	620円

(H29.9現在)

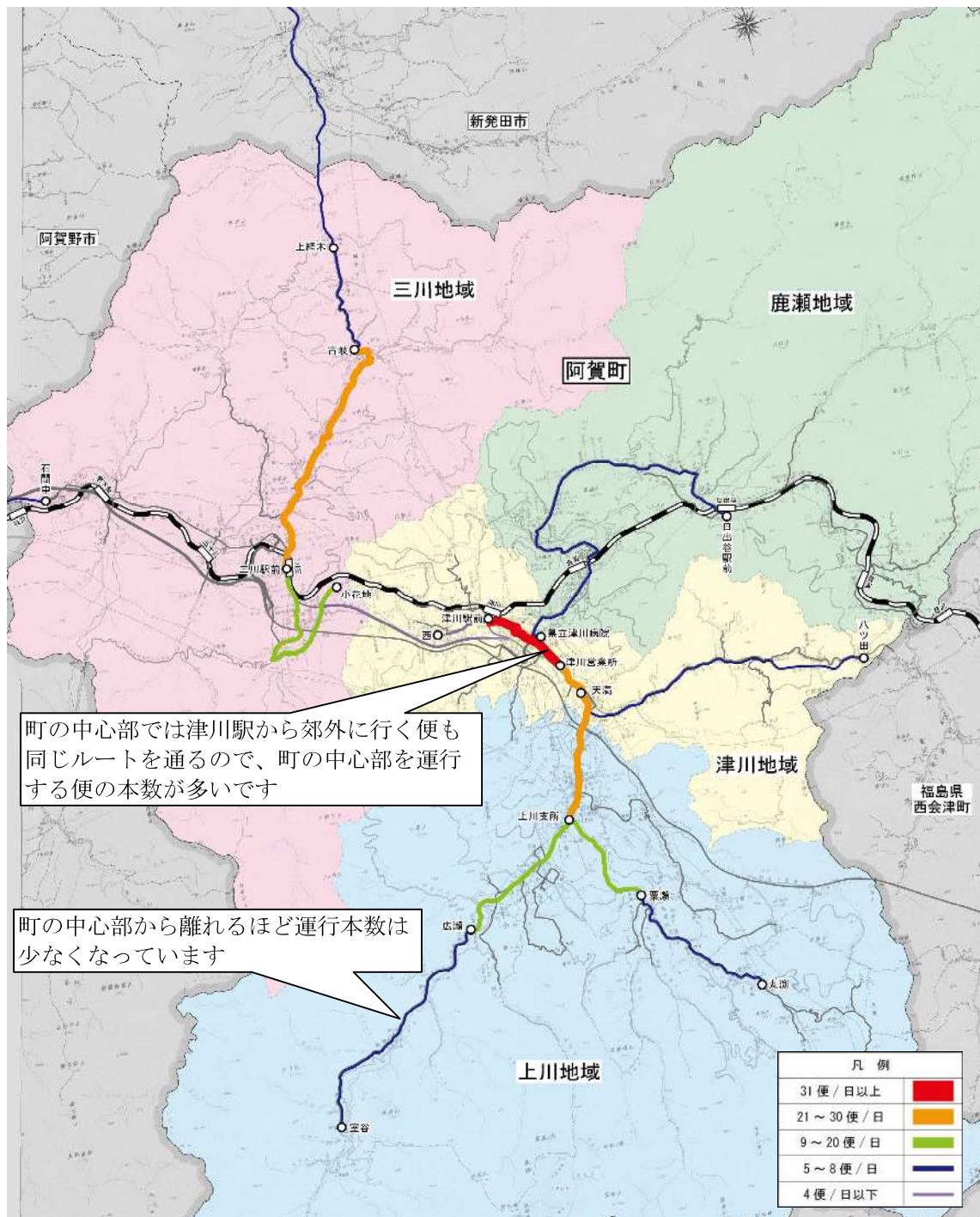


図 路線バスの運行本数

(H29. 9 現在)

②路線バスの便別の乗車人数

a) ハツ田線

○ハツ田線は、津川地域東部と津川駅を結ぶ路線で、上りと下り合わせて6便/日の運行となっています。

○乗車人数は、津川駅発の便は7:05の便の利用が最も多く、ハツ田発の便は、7:35の便が最も多いですが、津川駅発の便と比較して全体的に利用者が少なくなっています。
○停留所別の利用者を見ると、津川駅前発の便は、乗車は津川駅が多く、降車は阿賀黎明中高前が多くなっています。また、その他の停留所は利用者が1人/日を下回っています。

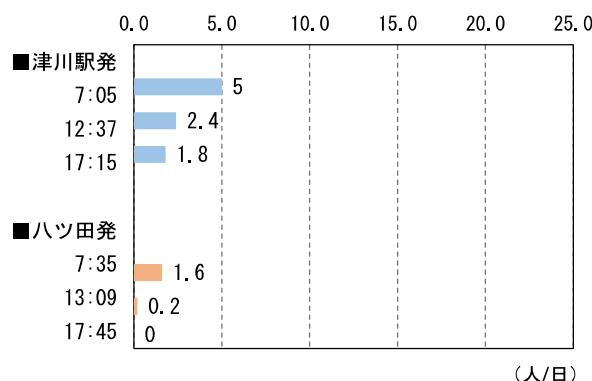


図 ハツ田線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川駅前	7.4	
きりん橋		
下町		
仲町		0.4
上町	0.2	0.6
温泉入口		0.6
阿賀黎明中高前	1.0	4.2
消防署前	0.4	0.2
下村入口		
津川営業所		0.6
平堀		
常浪		
天満		
天満工業団地前	0.2	0.8
野村上		
花立		
平石		
倉の平入口		
八木山		
福取		0.6
ハツ田		1.2

表 停留所別利用状況（ハツ田発）

停留所名	乗車人数	降車人数
ハツ田		
福取	0.6	
八木山		
倉の平入口		
平石		
花立		
野村上		
天満工業団地前	0.8	
天満		
常浪		
平堀		
津川営業所		
下村入口		
消防署前		
阿賀黎明中高前	0.4	
温泉入口		0.2
上町		
仲町		0.4
下町		
きりん橋		
津川駅前		1.2

※乗車人数は各年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

b) 津川駅～津川営業所線

- 津川駅～津川営業所線は、津川営業所と津川駅の津川地域中心部間を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 6 便/日となっていますが、津川駅発の便は 1 便/日のみとなっています。
- 乗車人数は、津川駅発の便は平成 28 年 6 月の調査では利用がありません。また、津川営業所発の便は、17:55 の便が最も利用者が多いですが、日中の便は 1 人/日を下回っています。
- 停留所別の利用者を見ると、津川営業所発の便は、乗車は阿賀黎明中高前が多く、降車は津川駅前が多くなっています。また、その他の停留所は利用者が 1 人/日を下回っていることが多いです。

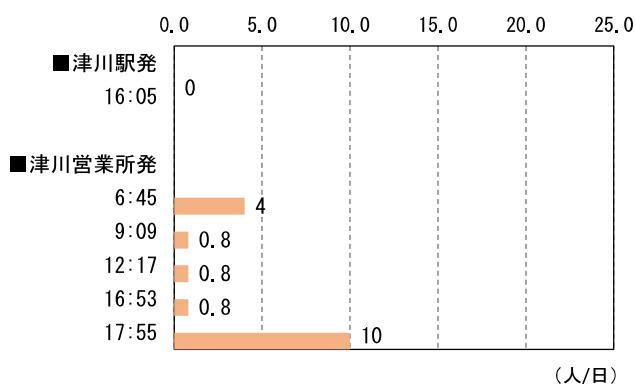


図 津川駅～津川営業所線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川駅前	平成28年6月調査 では利用者無し	
きりん橋		
下町		
仲町		
上町		
温泉入口		
阿賀黎明中高前		
消防署前		
下村入口		
津川営業所		

表 停留所別利用状況（津川営業所発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川営業所	0.6	0.0
下村入口	0.4	0.0
消防署前	0.2	0.0
阿賀黎明中高前	12.6	0.0
温泉入口	2.0	0.0
上町	0.0	0.0
仲町	0.6	0.2
下町	0.0	0.0
きりん橋	0.0	0.0
津川駅前	0.0	16.2

※乗車人数は各年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス株

c) 津川営業所～三川駅線

○津川営業所～三川駅線は、津川地域と三川地域を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 4 便/日となっています。

○乗車人数は、津川営業所発の 14:00 の便を除くと他の路線と比較して日中の乗車人が比較的多いです。

○停留所別の利用者を見ると、両方向とも津川地域中心部 ⇄ 三川地域中心部間の各停留所移動に分散しています。

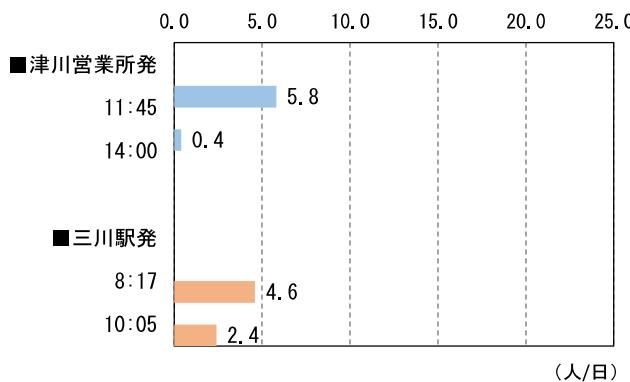


図 三川駅～津川営業所線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川営業所発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川営業所	0.0	0.0
下村入口	0.0	0.0
消防署前	0.8	0.0
阿賀黎明中高前	0.4	0.0
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	2.0	0.0
県立病院前	0.0	0.0
温泉入口	0.6	0.0
上町	0.2	0.0
仲町	1.8	0.0
下町	0.0	0.0
きりん橋	0.0	0.0
小花地	0.0	0.0
小花地入口	0.0	0.0
谷沢入口	0.0	0.0
谷沢神社前	0.0	0.6
谷沢下村	0.0	1.2
谷沢川向	0.0	1.8
三川海洋センター	0.0	0.0
黒岩上村	0.4	1.0
揚川発電所前	0.0	0.0
三川駅前	0.0	1.6

表 停留所別利用状況（三川駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
三川駅前	1.8	0.0
揚川発電所前	0.0	0.0
黒岩上村	1.0	0.0
三川海洋センター	0.0	0.0
谷沢川向	1.8	0.2
谷沢下村	1.4	0.0
谷沢神社前	0.8	0.0
谷沢入口	0.0	0.0
小花地入口	0.0	0.0
小花地	0.0	0.0
きりん橋	0.0	0.0
下町	0.0	0.0
仲町	0.2	2.4
上町	0.0	0.2
温泉入口	0.0	0.6
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	0.0	2.6
県立病院前	0.0	0.0
阿賀黎明中高前	0.0	0.0
消防署前	0.0	0.6
下村入口	0.0	0.0
津川営業所	0.0	0.4

※乗車人数は各年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

d) 西～津川病院線

○西～津川病院線は、津川地域西部に位置する集落と津川地域中心部を結ぶ路線で、上りと下り合わせて3便/日となっています。

○乗車人数は、西発の8:15の便を除くと乗車人数は1人/日を下回っています。

○停留所別の利用者を見ると、西発の便は、「西」、「津川駅」からの乗車が多く、降車は津川地域中心部の各停留所に分散しています。

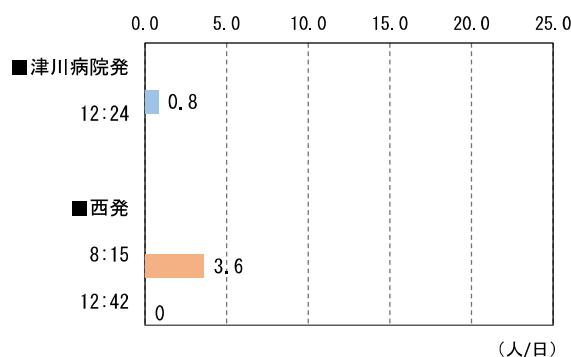


図 西～津川病院線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川病院発）

停留所名	乗車人数	降車人数
県立津川病院	0.4	0
県立病院前	0	0
温泉入口	0.2	0
上町	0	0
仲町	0.2	0
下町	0	0.2
きりん橋	0	0
津川駅前	0	0
西	0	0.6

表 停留所別利用状況（西発）

停留所名	乗車人数	降車人数
西	1.8	0.0
津川駅前	1.4	1.2
きりん橋	0.0	0.0
下町	0.2	0.0
仲町	0.2	0.4
上町	0.0	0.8
温泉入口	0.0	0.6
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	0.0	0.6

※乗車人数は各年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

e) 三川駅・三川支所～古岐線

- 三川駅・三川支所～古岐線は、三川地域中心部から三川地域北部を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 15 便/日となっています。本路線は、三川小学校および三川中学校の児童・生徒の登校にも利用されています。
- 乗車人数は、三川駅・三川支所発の便は午後の便の利用が多く、古岐発の便は 6:40、7:27 の便の利用が多いです。
- 停留所別の利用者を見ると、「三川支所前」（三川小中学校の最寄り停留所）と三川地域内の各停留所間の移動が多いです。

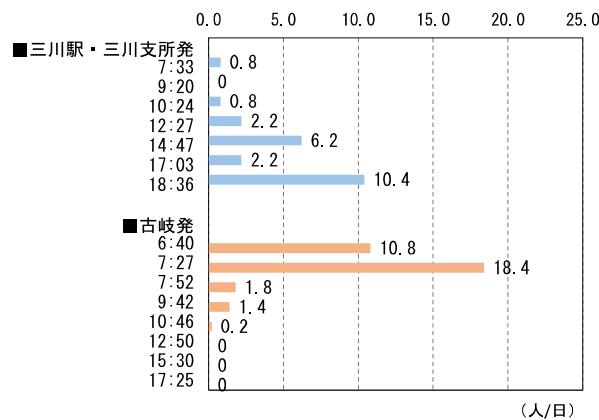


図 三川駅・三川支所～古岐線の乗車人数

表 停留所別利用状況（三川駅・三川支所発）

停留所名	乗車人数	降車人数
三川駅前	5.2	0.0
三川郵便局前	0.0	0.2
三川支所前	16.4	0.0
川口入口	0.0	0.0
川口	0.0	0.4
上川口	0.0	0.0
五十沢入口	0.0	1.2
下五十沢	0.0	0.4
中五十沢	0.0	2.8
上五十沢	0.0	0.0
三川温泉入口	0.0	3.6
細越下	0.0	0.0
三川学習館	0.0	0.4
細越	0.2	3.2
古館	0.0	1.2
新谷	0.0	5.2
新谷入口	0.0	0.6
古岐入口	0.0	0.0
古岐	0.0	2.6

表 停留所別利用状況（古岐発）

停留所名	乗車人数	降車人数
古岐	1.4	0.0
古岐入口	0.0	0.0
新谷入口	2.8	0.0
新谷	9.4	0.0
古館	2.6	0.0
細越	7.4	0.0
三川学習館	0.0	0.0
細越下	2.2	0.0
三川温泉入口	2.0	0.0
上五十沢	0.0	0.0
中五十沢	3.6	0.0
下五十沢	0.0	0.0
五十沢入口	0.2	0.0
上川口	0.0	0.0
川口	1.0	0.0
川口入口	0.0	0.0
三川支所前	0.0	27.6
三川郵便局前	0.0	0.6
三川駅前	0.0	4.4

※乗車人数は平成 28 年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス㈱

f) 三川支所～小花地線

- 三川支所～小花地線は、三川地域中心部から三川地域東部を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 11 便/日となっています。本路線は、三川小学校および三川中学校の児童・生徒の登校にも利用されています。
- 乗車人数は、三川支所発の便は午後の便の利用が多く、古岐発の便は 7:14 の便の利用が多いです。
- 停留所別の利用者を見ると、「三川支所前」（三川小中学校の最寄り停留所）と三川地域内の各停留所間の移動が多いです。

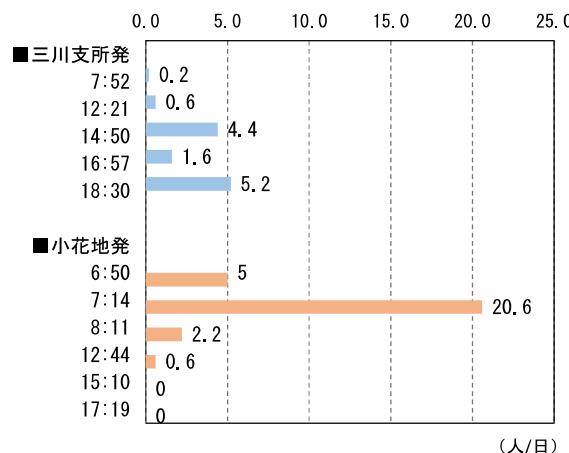


図 三川支所～小花地線の乗車人数

表 停留所別利用状況（三川支所発）

停留所名	乗車人数	降車人数
三川支所前	8.8	0.0
三川郵便局前	0.0	0.0
三川駅前	3.2	0.0
揚川発電所前	0.0	0.0
黒岩上村	0.0	5.0
三川海洋センター	0.0	0.0
谷沢川向	0.0	1.2
谷沢下村	0.0	1.4
谷沢神社前	0.0	1.8
谷沢入口	0.0	0.2
小花地入口	0.0	0.0
小花地	0.0	2.4

表 停留所別利用状況（古岐発）

停留所名	乗車人数	降車人数
小花地	8.0	0.0
小花地入口	0.0	0.0
谷沢入口	0.2	0.0
谷沢神社前	4.4	0.0
谷沢下村	0.6	0.0
谷沢川向	3.8	0.0
三川海洋センター	0.0	0.8
黒岩上村	10.6	0.0
揚川発電所前	0.0	0.0
三川駅前	0.8	2.4
三川郵便局前	0.0	0.6
三川支所前	0.0	24.6

※乗車人数は各年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス株

g) 津川駅～日出谷線

○津川駅～日出谷線は、鹿瀬地域から津川駅を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 6 便/日となっています。

○乗車人数は、津川駅発の便は 12:37 の便が最も多く、日出谷駅発の便は 7:20 発の便が最も多いです。

○停留所別の利用者を見ると、津川駅発の便は「県立津川病院」での乗車が最も多く、降車は鹿瀬地域の各停留所に分散しています。日出谷駅発の便は、「日出谷駅前」での乗車が多く、降車は「温泉入口」が多いです。

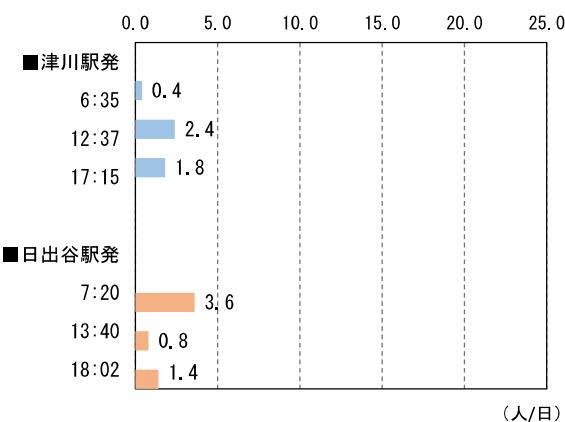


図 津川駅～日出谷線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川駅発）

	乗車人数	降車人数
津川駅前	0.8	0.0
きりん橋	0.0	0.0
下町	0.0	0.4
仲町	0.2	0.0
上町	0.0	0.0
温泉入口	1.0	0.2
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	1.4	0.2
きりん山温泉	0.0	0.0
鹿瀬一本杉	0.0	0.2
鹿瀬下村	0.0	0.0
鹿瀬中学前	0.0	0.0
田中	0.0	0.4
鹿瀬支所前	0.0	0.0
鹿瀬電工前	0.0	0.2
稻荷前	0.0	0.6
グランド入口	0.0	0.0
角神旅行村	0.0	0.0
角神温泉	0.8	0.8
水沢下	0.0	0.0
水沢入口	0.0	0.0
中村観音堂前	0.0	0.6
徳瀬	0.4	0.2
東蒲農協前	0.0	0.0
日出谷駅前	0.0	0.8

表 停留所別利用状況（日出谷駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
日出谷駅前	1.8	0.0
東蒲農協前	0.0	0.0
徳瀬	0.2	1.6
中村観音堂前	1.0	0.0
水沢入口	0.0	0.0
水沢下	0.0	0.0
角神温泉	0.2	0.6
角神旅行村	0.0	0.0
グランド入口	0.0	0.0
稻荷前	0.0	0.0
鹿瀬電工前	0.2	0.0
鹿瀬支所前	0.2	0.0
田中	0.8	0.0
鹿瀬中学前	0.4	0.0
鹿瀬下村	0.0	0.0
鹿瀬一本杉	0.2	0.0
きりん山温泉	0.2	0.0
県立津川病院	0.0	0.6
県立病院前	0.0	0.0
温泉入口	0.6	1.8
上町	0.0	0.6
仲町	0.0	0.6
下町	0.0	0.0
きりん橋	0.0	0.0
津川駅前	0.0	0.0

※乗車人数は各年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス㈱

h) 津川駅～室谷・広瀬線

○津川駅～室谷・広瀬線は、上川地域南西部から津川駅を結ぶ路線で、上りと下り合わせて 12 便/日となっています。

○乗車人数は、津川駅発の便は 12:39 の便が最も多く、室谷・広瀬発の便は 7:15 発の便が最も多いです。

○停留所別の利用者を見ると、津川駅発の便は「津川駅前」での乗車が最も多く、降車は津川地域と上川地域の各停留所に分散しています。室谷・広瀬発の便は、「阿賀黎明中高前」での乗車が多く、降車は「津川駅前」が多いです。

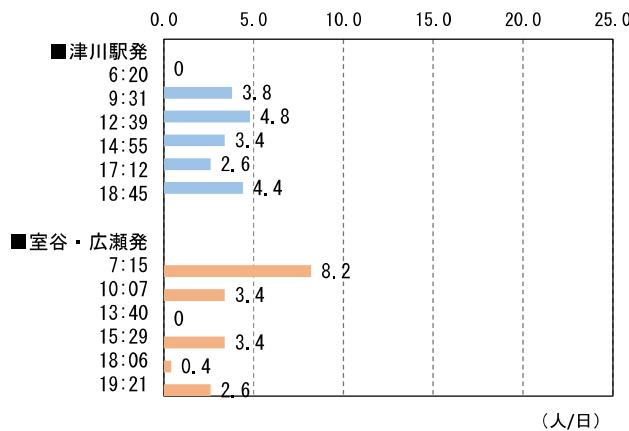


図 津川駅～広瀬・室谷線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川駅前	8.4	0.0
きりん橋	0.0	0.0
下町	0.0	0.0
仲町	0.8	1.6
上町	0.2	0.4
温泉入口	0.8	1.8
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	0.8	0.0
県立病院前	0.0	0.0
阿賀黎明中高前	5.0	1.4
消防署前	0.4	1.2
下村入口	0.0	0.2
津川営業所	1.2	0.2
平堀	0.0	0.2
常浪	0.0	0.0
天満	0.2	0.6
野村	0.0	0.0
栄	0.0	0.2
長木入口	0.0	1.0
九島下	0.2	0.0
九島	0.4	0.0
九島上	0.0	0.4
大門	0.0	0.8
小出入口	0.0	0.6
上川中学校前	0.4	0.8
合川	0.0	0.2
上川支所前	0.2	0.2
太田	0.0	0.6
松ヶ丘	0.0	2.4
芹田	0.0	0.0
高谷	0.0	0.6
西川小学校前	0.0	0.0
高出入口	0.0	0.8
八田蟹	0.0	1.2
柄堀	0.0	1.0
柄堀宮前	0.0	0.0
広瀬	0.0	0.2
樋山	0.0	0.0
鍵取	0.0	0.0
名古津	0.0	0.0
室谷	0.0	0.4

表 停留所別利用状況（室谷・広瀬発）

停留所名	乗車人数	降車人数
室谷	0.6	0.0
名古津	0.0	0.0
鍵取	0.0	0.0
樋山	0.0	0.0
広瀬	1.0	0.0
柄堀宮前	0.0	0.0
柄堀	0.6	0.0
八田蟹	2.0	0.0
高出入口	0.4	0.0
西川小学校前	0.0	0.0
高谷	1.0	0.0
芹田	0.2	0.0
松ヶ丘	2.2	0.0
太田	0.2	0.0
上川支所前	1.2	0.6
合川	0.0	0.0
上川中学校前	0.0	0.6
小出入口	0.0	0.0
大門	0.4	0.0
九島上	0.2	0.0
九島	0.0	0.0
九島下	0.2	0.2
長木入口	0.2	0.0
栄	0.0	0.0
野村	0.0	0.0
天満	0.0	0.0
常浪	0.0	0.8
平堀	0.2	0.2
津川営業所	0.0	0.0
下村入口	0.0	0.0
消防署前	1.4	0.0
阿賀黎明中高前	5.8	4.6
県立病院前	0.0	0.0
県立津川病院	0.0	1.2
県立病院前	0.0	0.0
温泉入口	0.2	0.2
上町	0.0	0.6
仲町	0.0	1.0
下町	0.0	0.0
きりん橋	0.0	0.2
津川駅前	0.0	7.8

※乗車人数は各年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

i) 津川駅～粟瀬・丸渕線

○津川駅～粟瀬・丸渕線は、上川地域南東部から津川駅を結ぶ路線で、上りと下り合わせて10便/日となっています。

○乗車人数は、津川駅発の便は8:05の便が最も多く、粟瀬・丸渕発の便は7:30発の便が最も多いです。

○停留所別の利用者を見ると、津川駅発の便は「津川駅前」での乗車が最も多く、降車は「阿賀黎明中高前」が多いです。粟瀬・丸渕発の便は、乗車は上川地域の各停留所で分散していて、降車は「津川駅前」、「阿賀黎明中高前」が多いです。

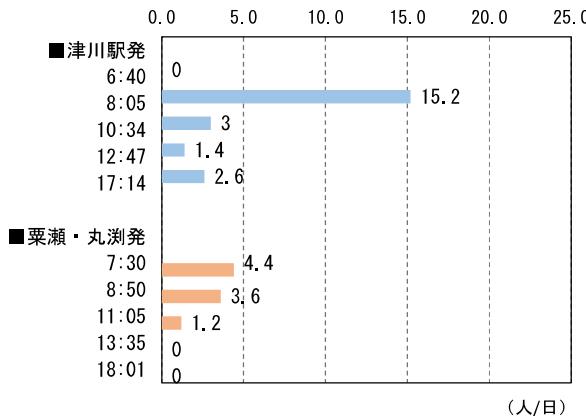


図 津川駅～粟瀬・丸渕線の乗車人数

表 停留所別利用状況（津川駅発）

停留所名	乗車人数	降車人数
津川駅前	18.6	0.0
きりん橋	0.0	0.0
下町	0.0	0.0
仲町	0.4	1.8
上町	0.0	0.2
温泉入口	0.0	1.0
県立病院前	0	0
県立津川病院	0	0
県立病院前	0	0
阿賀黎明中高前	1.2	14.8
消防署前	0.4	0.4
下村入口	0.0	0.2
津川営業所	0.4	0.0
平堀	0.2	0.0
常浪	0.0	0.0
天満	0.4	0.6
野村	0.0	0.0
栄	0.0	0.0
長木入口	0.0	0.0
九島下	0.0	0.0
九島	0.2	0.2
九島上	0.2	0.4
大門	0.0	0.0
小出入口	0.2	0.0
上川中学校前	0.0	0.2
合川	0.0	0.0
上川支所前	0.0	0.4
石畑	0.0	0.0
粟瀬公民館前	0.0	0.0
粟瀬	0.0	0.6
相高島	0.0	0.4
安用	0.0	0.0
押手	0.0	0.6
中山入口	0.0	0.4
大尾入口	0.0	0.0
七名	0.0	0.0
丸渕	0.0	0.0

表 停留所別利用状況（粟瀬・丸渕発）

停留所名	乗車人数	降車人数
丸渕	0.4	0
七名	0	0
大尾入口	0	0
中山入口	0	0
押手	0	0
安用	0	0
相高島	0.8	0
粟瀬	3	0
粟瀬公民館前	0.4	0
石畑	0	0
上川支所前	0.6	0.6
合川	0	0
上川中学校前	0.4	0
小出入口	0.8	0.2
大門	0.2	0
九島上	0.2	0
九島	0	0
九島下	0.2	0
長木入口	0.2	0
栄	0.2	0
野村	0	0
天満	1.4	0
常浪	0	0.2
平堀	0.2	0
津川営業所	0	0.2
下村入口	0	0
阿賀黎明中高前	0	2.6
県立病院前	0.2	1
県立津川病院	0	0.4
県立病院前	0.2	0.4
温泉入口	0	0.2
上町	0.2	0.6
仲町	0	0.6
下町	0	0.2
きりん橋	0	0
津川駅前	0	2.4

※乗車人数は各年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス㈱

j) 三川駅・新谷～新発田線

○三川駅・新谷～新発田線は、三川地域から新発田市を結ぶ路線で、上りと下り合わせて6便/日となっています。

○乗車人数は、三川駅・新谷発の便は6:58の便が最も多いです。新発田発の便は利用者が一定数存在しますが、停留所利用者の降車人数を見ると、利用のほとんどが新発田市内の停留所となっています。

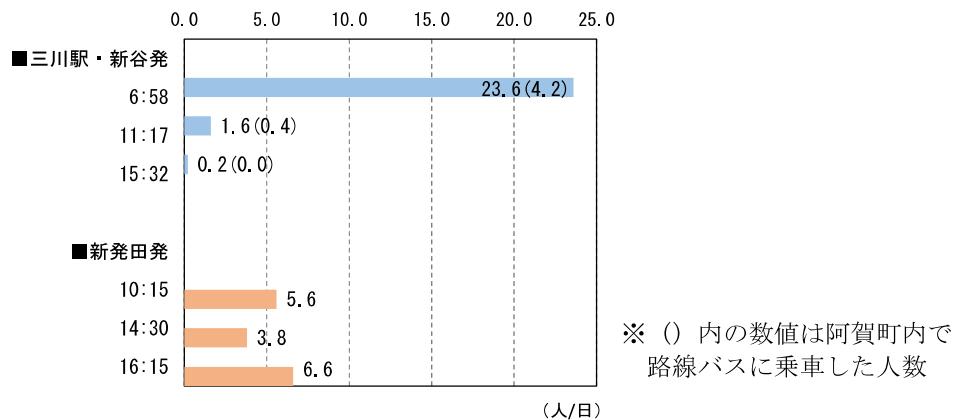


図 新谷～新発田線の乗車人数

表 停留所別利用状況（三川駅・新谷発）

停留所名	乗車人数	降車人数
新谷	1.0	0.0
新谷入口	0.0	0.0
古岐入口	0.0	0.0
下綱木	0.8	0.0
中綱木	0.0	0.0
上綱木	0.2	0.0
上綱木農協前	1.0	0.0
上綱木入口	1.6	0.0
新発田市内停留所	20.8	25.4

表 停留所別利用状況（新発田発）

停留所名	乗車人数	降車人数
新発田市内停留所	16.0	13.6
上綱木入口	0.0	1.0
上綱木農協前	0.0	0.4
上綱木	0.0	0.2
中綱木	0.0	0.0
下綱木	0.0	0.8
古岐入口	0.0	0.0
新谷入口	0.0	0.0
新谷	0.0	0.0

※乗車人数は平成28年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

k) 石間中～阿賀野線

- 石間中～阿賀野線は、三川地域西部から阿賀野市を結ぶ路線で、上りと下り合わせて6便/日となっています。また、阿賀町内の停留所は1箇所のみとなっています。
- 乗車人数は阿賀町内の利用者は全ての便が1人/日以下となっています。

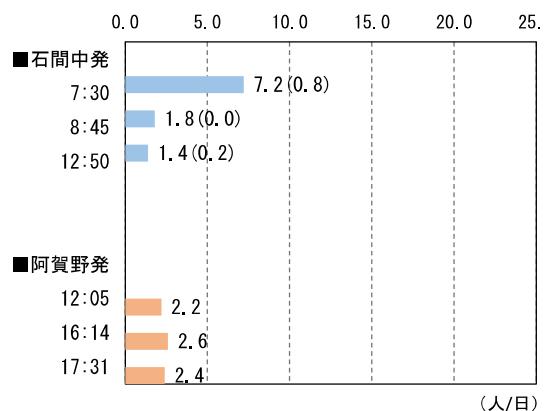


図 石間中～阿賀野線の乗車人数

※ () 内の数値は阿賀町内で路線バスに乗車した人数

表 停留所別利用状況（石間中発）

停留所名	乗車人数	降車人数
石間中	1.0	0.0
阿賀野市停留所	9.4	10.4

表 停留所別利用状況（阿賀野発）

停留所名	乗車人数	降車人数
阿賀野市内停留所	7.2	6.4
石間中	0.0	0.8

※乗車人数は平成28年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス㈱

③停留所別の利用状況

○停留所別の乗車人数を見ると、最も多く利用されているのは、「三川支所前」（三川小学校・三川中学校の最寄り停留所）となっており、次いで「津川駅前」、「阿賀黎明中高前」となっています。

表 停留所別の乗車人数

地域	停留所	1日あたり乗車人数(人/日)
三川	三川支所前	78.2
津川	津川駅前	65.0
津川	阿賀黎明中高前	55.4
三川	三川駅前	20.0
三川	黒岩上村	18.2
三川	新谷	16.4
三川	細越	11.0
津川	温泉入口	10.6
三川	小花地	10.4
三川	谷沢川向	8.2
津川	県立津川病院	7.8
三川	谷沢神社前	7.6
三川	中五十沢	6.4
三川	三川温泉入口	5.6

※赤字は10人/日以上の停留所

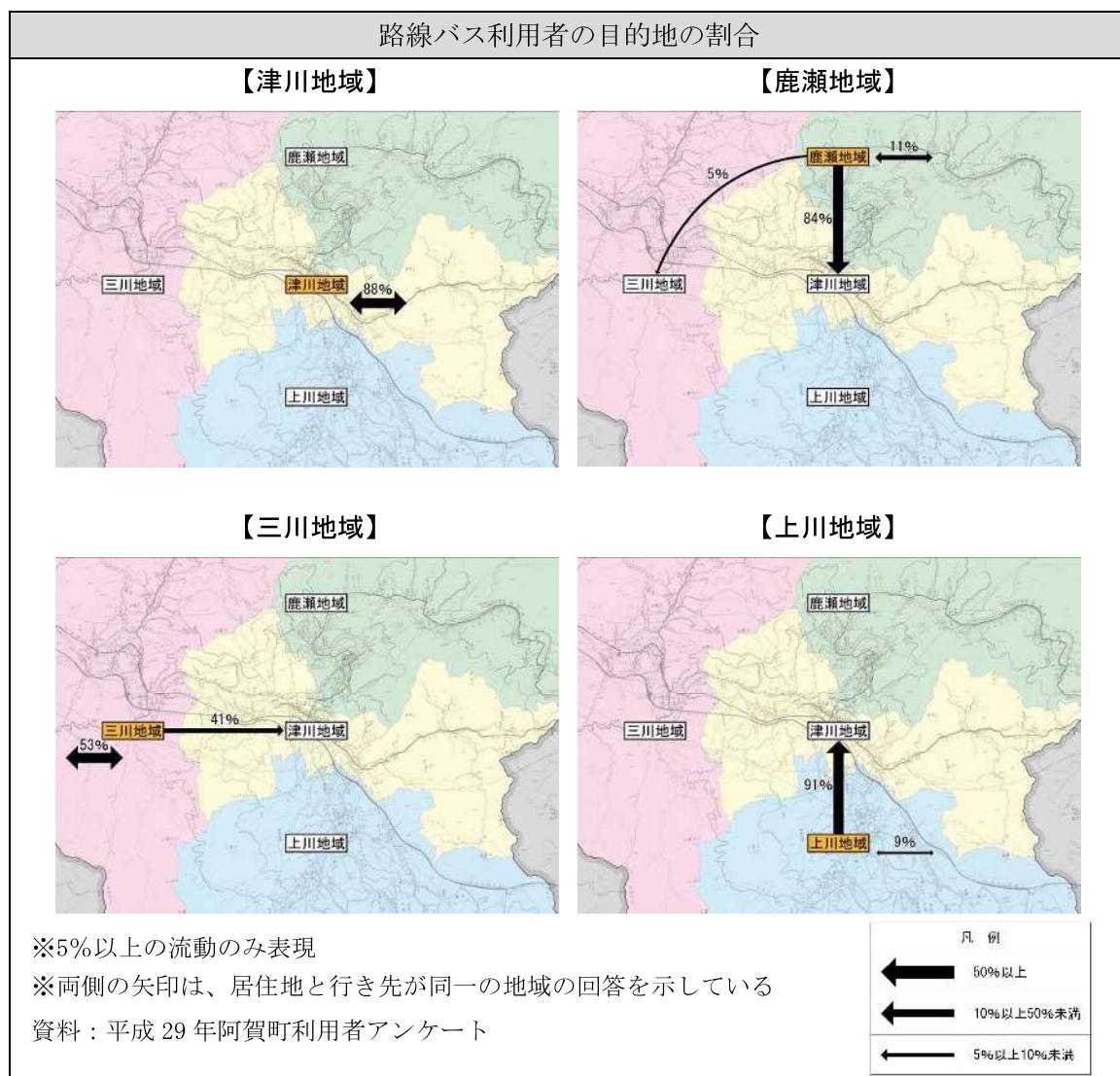
※乗車人数が5人/日以上の停留所を記載

※乗車人数は平成28年6月の平日5日間に実施した調査結果

資料：新潟交通観光バス(株)

④路線バス利用者の移動状況

○地域別の目的地を見ると、どの地域も「津川地域」が比較的多いですが、「三川地域」は地域内を目的地としている人が半数以上となっています。



⑤路線バス利用の高校生および高齢者への補助金交付事業

- 阿賀町では、公共交通以外の交通手段を持たない 65 歳以上の高齢者または学生の移動を支援するとともに、路線バスの利用を促進するため、平成 26 年 4 月から路線バス利用の補助金交付事業を実施しています。
- 内容は、学生とその保護者には定期券を、高齢者には回数券の補助金交付を実施しており、購入額の 2 分の 1 (上限 1 万円) としています。
- 利用実績は、高齢者バス回数券は平成 26 年度から平成 27 年度で減少しています。通学実績は、横ばいとなっていますが、学生の定期券の額によって、町の補助額は大きく変動します。

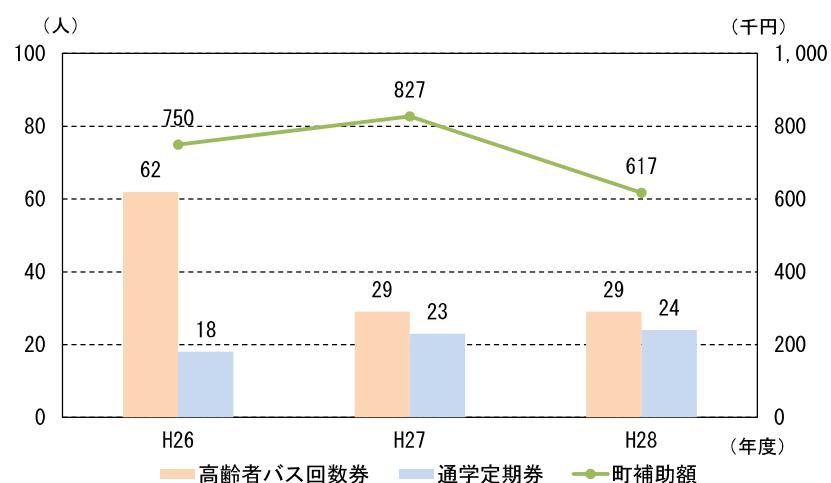


図 補助金交付事業の利用実績

資料：阿賀町

2) 福祉バス

① 福祉バスの利用状況

○ 福祉バスは、福祉施策の一環として運行している無償の公共交通です。

○ 運行ルートは、郊外から町の中心部へ行く路線や各地域の診療所、温泉などへ行くことができるような路線を週に数回運行しており、町内の集落をほぼ全てカバーすることができるよう運行しています。

○ 1日あたりの延べ利用者数は、平成21年度をピークに利用者が減少していましたが、平成25年度から平成27年度までは増加傾向となっています。しかし、平成28年度は前年度と比較して、75人/日利用者が減少しています。

○ 地域別の利用状況を見ると、鹿瀬地域の利用が最も多く、津川地域の利用者が最も少なくなっています。

○ 行政負担額も年々微増し、平成28年度では約10,064万円（平成20年度の約1.2倍）となっています。

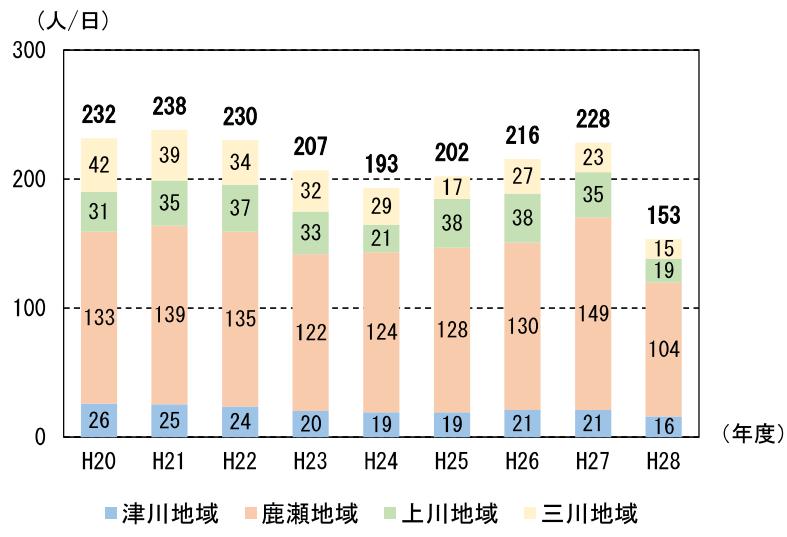


図 福祉バスの乗車人数

資料：阿賀町

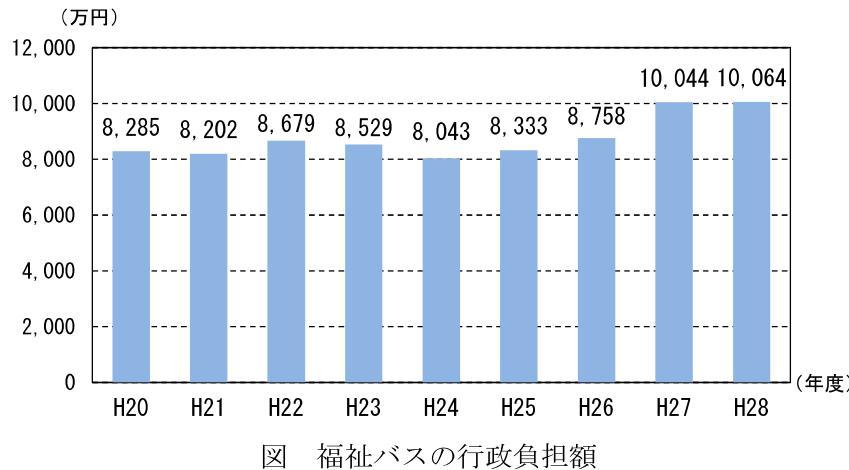


図 福祉バスの行政負担額

※スクールバスの運行委託費を含む

資料：阿賀町

表 福祉バスの運行便数と利用状況

地域	路線名	運行日	運行本数 (往路+復路)	乗車人数 (人/日)
津川	県立津川病院～津川商店街～保養センター～やまぶきの里	月・金	2便	-
	鳥井・三郷・常浪方面	火・金	2便	8.3
	雲和田・芦沢・土ノ山方面	月・木	2便	4.1
	柳新田・払川・奥田方面	木	2便	
	やまぶきの里～津川商店街～県立津川病院～鹿瀬診療所	火・水・木	2便	-
	やまぶきの里～鹿瀬診療所	火・水・木・金	2便	0.1
	栄山・西・清川方面	火・金	2便	3.8
三川	綱木・白崎方面～診療所みかわ	火・木	2便	4.0
	黒岩・谷沢方面～診療所みかわ	月・金	2便	2.9
	石間方面～診療所みかわ	月・金	2便	1.8
	綱木方面～YOU&湯	月	2便	2.0
	中ノ沢・岡沢方面～YOU&湯	火	2便	0.3
	小花地・谷沢方面～YOU&湯	水	2便	3.2
	岩谷・五十島方面～YOU&湯	木	2便	0.4
	石間方面～YOU&湯	金	2便	0.9
	三川駅⇒石間中バス停	月～金	1便	0.1
鹿瀬	日出谷方面～鹿瀬診療所～津川方面	月・木	4便	49.9
	豊実・深戸方面～鹿瀬診療所～津川方面	火・水・金	4便	53.5
	小荒方面	水*・木	2便	0.3
上川	柴倉・土井方面	火・金	2便	1.4
	黒谷・小手茂・明谷沢方面	火・金	2便	2.5
	蟬・漆沢方面	月・木	2便	2.4
	神谷・広谷・日野川方面	水・金	2便	2.2
	七名・三宝分方面	火・金	2便	2.8
	中山・東山・小出方面	月・木	2便	7.4
	中山方面	月・木	2便	

※第2、第4水曜日のみ運行

※乗車人数は平成28年度の利用実績

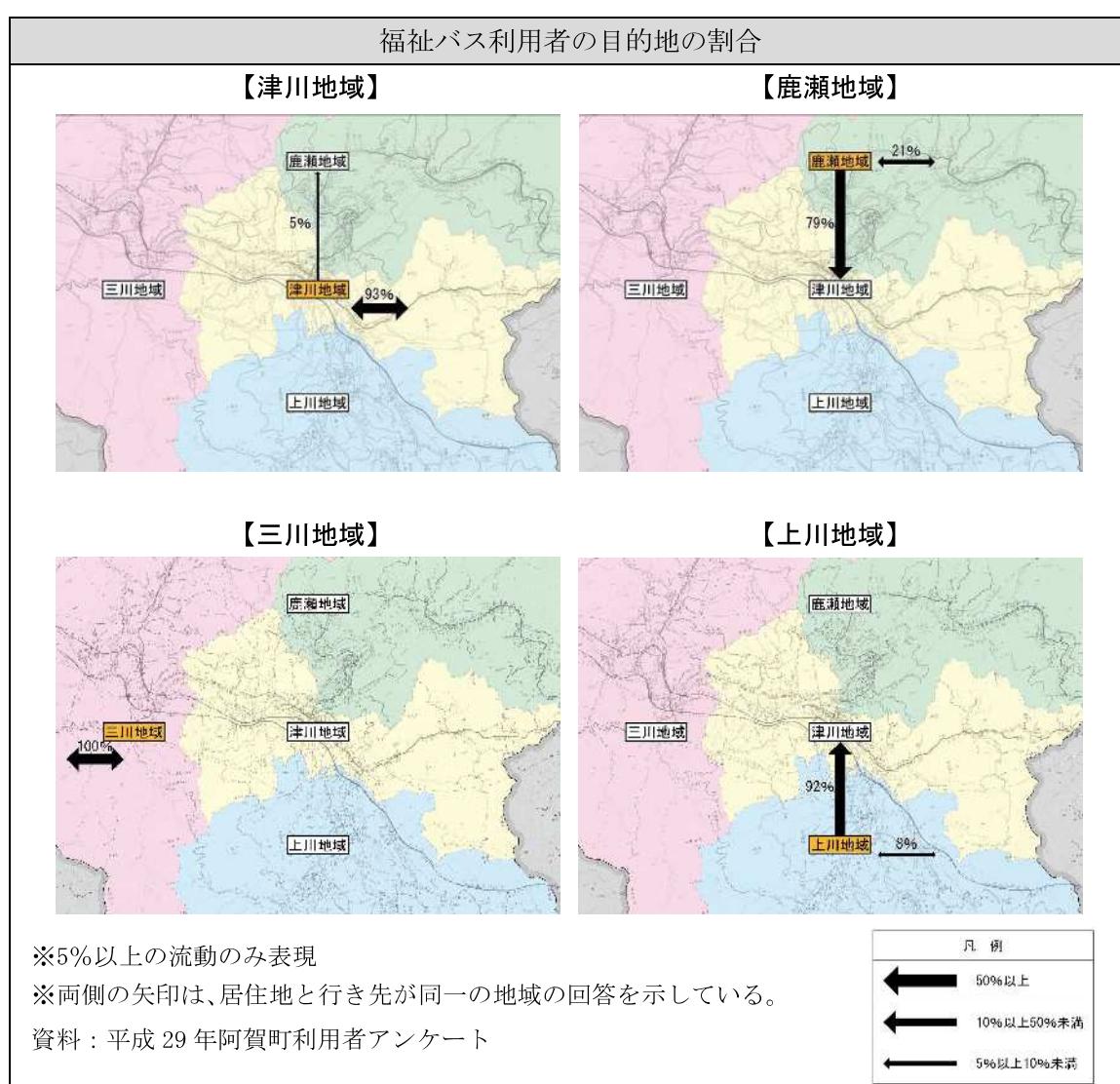
※津川地域の「県立津川病院～津川商店街～保養センター～やまぶきの里」、「やまぶきの里～津川商店街～県立津川病院～鹿瀬診療所」の乗車人数は、上川地域で運行する福祉バスの乗車人数に含んで集計

資料：阿賀町

②福祉バス利用者の移動状況

○地域別の目的地を見ると、「三川地域」は地域内を目的地としている人が100%となっており、他の地域は「津川地域」が半数以上となっています。

※三川地域の福祉バスは地域内の運行のみ



3) 阿賀町バス

○阿賀町バスは、平成 28 年 9 月に廃止された高速バス「津川・上川線」の代替として平成 28 年 10 月より運行している高速バスです。

○運行ルートは、上川支所から町内の停留所を経由し、新潟市内の主要な病院などへ向かうルートとなっています。

○運行本数は、平成 29 年 9 月までは、1 日 2 往復でしたが、利用者が少なく、行政負担が増加したことから、午後の便（15:00 発、17:05 発）を廃止し、平成 29 年 10 月より 1 日 1 往復で運行しています。なお、阿賀町バスの運行費用は、平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月まで約 900 万円の負担となっています。

○利用者数は、12 人～19 人の間で推移しており、便別の利用状況を見ると、新潟方面行きの 7:30 発の便が最も多いです。一方で、新潟方面行きの 15:00 発の便の利用者は、ほとんど利用がされていません。また、阿賀方面の利用は、行きの便よりも利用者が少なくなっています。

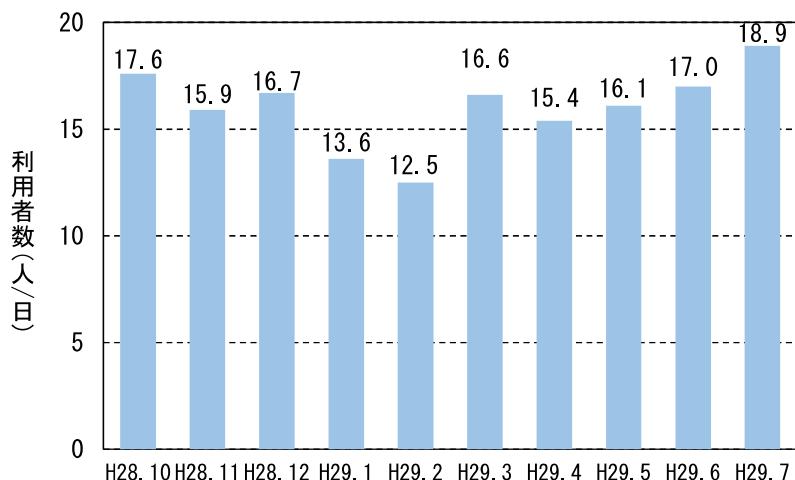


図 阿賀町バスの延べ利用者数

表 便別の利用状況

期間	新潟方面の利用者数(人/日)		阿賀方面の利用者数(人/日)		合計
	7:30発	15:00発	12:50発	17:05発	
H28.10	9.1	0.7	6.3	1.6	17.6
H28.11	8.5	0.3	5.7	1.4	15.9
H28.12	9.0	0.4	6.4	0.9	16.7
H29.1	7.2	0.4	5.0	0.9	13.6
H29.2	6.2	0.7	4.5	1.2	12.5
H29.3	8.2	0.8	5.4	2.3	16.6
H29.4	8.0	0.9	4.9	1.6	15.4
H29.5	8.1	0.8	4.8	2.4	16.1
H29.6	9.0	0.5	5.8	1.7	17.0
H29.7	9.7	0.8	6.2	2.3	18.9

平成 29 年 10 月より、午後の便（15:00 発、17:05 発）を廃止し、阿賀方面の便の時刻を 12:50→14:05 に変更し 1 日 1 往復で運行

資料：阿賀町

4) スクールバス

○地域の小学生や中学生の通学時における移動の確保のために阿賀町ではスクールバスを運行しています。ルートは福祉バスとほぼ同じとなっています。

○利用者数は路線によって1~42人/日となっていて、各集落に小中学生が1人でも居住している場合はスクールバスを運行しています。

表 平成28年度のスクールバスの運行状況及び利用者数

地域	区分	路線	利用者数	定員
鹿瀬地域	小学校	豊実地区～日出谷小学校	1人/日	29人
上川地域	小学校	室谷地区～西川小学校	12人/日	29人
津川地域	中学校	田沢地区～阿賀津川中学校	2人/日	15人
鹿瀬地域	中学校	豊実地区～阿賀津川中学校	21人/日	29人
鹿瀬地域	中学校	鹿瀬・向鹿瀬・深戸地区～阿賀津川中学校	20人/日	29人
上川地域	中学校	室谷・広瀬地区～阿賀津川中学校	20人/日	29人
上川地域	中学校	七名地区～阿賀津川中学校	16人/日	29人
上川地域	中学校	東山・小出・九島地区～阿賀津川中学校	26人/日	29人
津川地域	小・中学校	大牧・西地区～津川小学校・阿賀津川中学校	35人/日	54人
津川地域	小・中学校	八ツ田地区～三郷小学校～阿賀津川中学校	11人/日	15人
三川地域	小・中学校	石間地区～五十島～三川小・中学校	42人/日	50人
三川地域	小・中学校	石間地区～三川小・中学校		50人
三川地域	小・中学校	岩谷地区～三川小・中学校	40人/日	50人
三川地域	小・中学校	綱木地区～三川小・中学校	39人/日	50人
三川地域	小・中学校	三川温泉～三川小・中学校		50人
三川地域	小・中学校	小花地地区～三川小・中学校	26人/日	50人

資料：阿賀町

5) 高速バス（新潟↔会津若松線）

○高速バス（新潟↔会津若松線）は阿賀町内の三川と津川インター前を経由して運行しています。運行頻度は片道4便/日となっており、予約なしで利用することができます。

○阿賀町内の停留所は新潟方面の便は降車専用となっているため、現在会津若松方面にしか行く事ができないような運行となっています。

表 高速バス（新潟↔会津若松線）の運行内容

会津若松方面（4便/日）		新潟方面（4便/日）	
	停留所名		停留所名
乗車のみ	万代シティバスセンター	乗車のみ	鶴ヶ城・合同庁舎前
	新潟駅前		神明通り
	川口		若松駅前
	安田インター前		北柳原
	三川		会津アピオ入口
	津川インター前		西会津インター前
両方向	西会津インター前	降車のみ	津川インター前
降車のみ	会津アピオ入口		三川
	北柳原		安田インター前
	若松駅前		川口
	神明通り		新潟駅前
	鶴ヶ城・合同庁舎前		万代シティバスセンター

※赤字は阿賀町内の停留所

(4) 路線バスと鉄道の接続

1) 津川駅との接続

○路線バスと鉄道は、概ね乗り換えができるように運行されています。しかし、津川駅発の路線バスの最終便は 18:45 となっているため、この時刻以降に町外から鉄道で帰宅した利用者はバスへ乗り換えはできません。

○津川駅の乗車人数・降車人数を見ると、朝は鉄道→路線バスの利用者が、夕方は路線バス→鉄道の利用者が比較的多くなっています。

表 鉄道と路線バスの接続状況（平日）

路線バス→鉄道				鉄道→路線バス			
発停留所	着時刻	降車人数	鉄道の発時刻	鉄道の着時刻	路線バスの発時刻	行き先	乗車人数
			新潟行①	会津若松行②			
			x 6:00	x 6:08			
津川営業所	6:56	3.8人/日	○ 7:03	○ 7:08			
ハツ田	8:05	1.2人/日					
日出谷駅	8:07	0人/日	○				
室谷	8:12	1.2人/日	8:31				
丸瀬	8:18	2.0人/日					
西	8:33	1.2人/日					
津川営業所	9:22	0.2人/日	○ 9:31	○ 9:28			
丸瀬	9:38	0.4人/日					
			x 10:32	x 10:32			
広瀬	10:43	1.0人/日					
粟瀬	11:36	0.2人/日					
津川営業所	12:28	0.2人/日	○ 12:32	○ 12:33			
西	12:47	0人/日					
ハツ田	13:39	0人/日					
丸瀬	14:20	0.2人/日					
日出谷駅	14:20	0人/日					
室谷	14:34	0人/日	○ 14:57				
広瀬	16:05	5.6人/日	○ 16:09				
津川営業所	17:04	1人/日		○ 17:19			
津川営業所	18:06	10人/日	○ 18:13				
ハツ田	18:15	0.2人/日		○ 18:45			
日出谷駅	18:42	0人/日					
丸瀬	18:46	0人/日					
室谷	19:02	0.2人/日					
広瀬	19:57	2.6人/日	○ 20:01				
			x 21:19	x 21:19			



※降車後 30 分以内に乗り換え可能なら○、1 分以内なら△、それ以外は×

※降車人数・乗車人数は、平成 28 年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果（津川駅）

資料：新潟交通観光バス(株)

2) 三川駅の接続

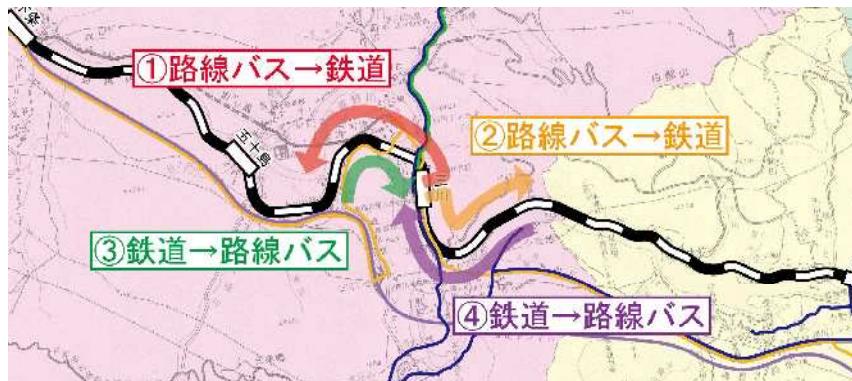
○路線バスと鉄道は、津川駅と同様に概ね乗り換えができるように運行されています。

しかし、三川駅発の路線バスの最終便は 18:36 となっているため、この時刻以降に町外から鉄道で帰宅した利用者はバスへ乗り換えはできません。また、夕方以降は路線バスから鉄道に乗り換えることができません。また、津川駅と比較して三川駅の路線バスの利用者は少ないです。

表 鉄道と路線バスの接続状況（平日）

路線バス→鉄道			鉄道発時刻	
始点	着時刻	降車人数	新潟行①	会津若松行②
			x 6:09	x 6:51
古岐	7:02	1.2人/日	○	
小花地	7:06	0.6人/日	7:12	
小花地	7:30	0.8人/日		○
古岐	7:49	0.2人/日		7:51
三川支所	7:55	0.0人/日		
古岐	8:14	1.8人/日	○	
小花地	8:27	1.8人/日	8:42	
			x 9:42	x 9:18
古岐	10:04	1.0人/日		○ 10:21
			x 10:42	
古岐	11:08	0.2人/日		x 12:21
津川営業所	12:25	1.6人/日	○	
三川支所	12:27	0.0人/日	12:42	
小花地	13:00	0.2人/日		
古岐	13:12	0.0人/日		
津川営業所	14:40	0.0人/日		△ 14:41
三川支所	14:53	0.0人/日	○ 15:07	
小花地	15:26	0.0人/日		
古岐	15:52	0.0人/日	○ 16:20	
			x 17:01	
三川支所	17:03	0.0人/日		
新発田	17:35	0.0人/日		
小花地	17:35	0.0人/日		
古岐	17:47	0.0人/日		
			x 18:23	x 18:35
三川支所	18:36	0.0人/日		x 19:42
			x 20:10	x 21:09
			x 21:30	x 22:46

鉄道の着時刻		路線バスの発時刻	
会津若松行③	新潟行④	行き先	乗車人数
	6:09	新発田	○ 0.6人/日
6:51		三川支所	○ 0.0人/日
	7:12	古岐	○ 0.2人/日
		小花地	○ 0.2人/日
	7:51	津川営業所	○ 1.2人/日
		三川支所	x 0.0人/日
	8:42	古岐	○ 0.0人/日
		津川営業所	○ 0.6人/日
	9:18	古岐	○ 0.0人/日
		古岐	○ 0.6人/日
	10:21	古岐	○ 0.6人/日
		古岐	○ 2.0人/日
12:21		小花地	○ 0.6人/日
	12:42	三川支所	○ 0.0人/日
		古岐	○ 0.4人/日
14:41		小花地	○ 0.6人/日
	15:07	三川支所	○ 0.0人/日
		古岐	○ 0.6人/日
17:01		小花地	○ 0.4人/日
	18:23	三川支所	x 0.0人/日
		古岐	○ 1.6人/日
18:35		小花地	○ 1.4人/日
	19:49		
21:09			
	22:46		



※降車後 30 分以内に乗り換え可能なら○、1 分以内なら△、それ以外は×

※降車人数・乗車人数は、平成 28 年 6 月の平日 5 日間に実施した調査結果（津川駅）

資料：新潟交通観光バス(株)

(5) 利用者の流動状況

1) 通院

○どの集落からも津川中心部へバスを使って通院する人が多いですが、三川地域は、地域内の移動も多いです。

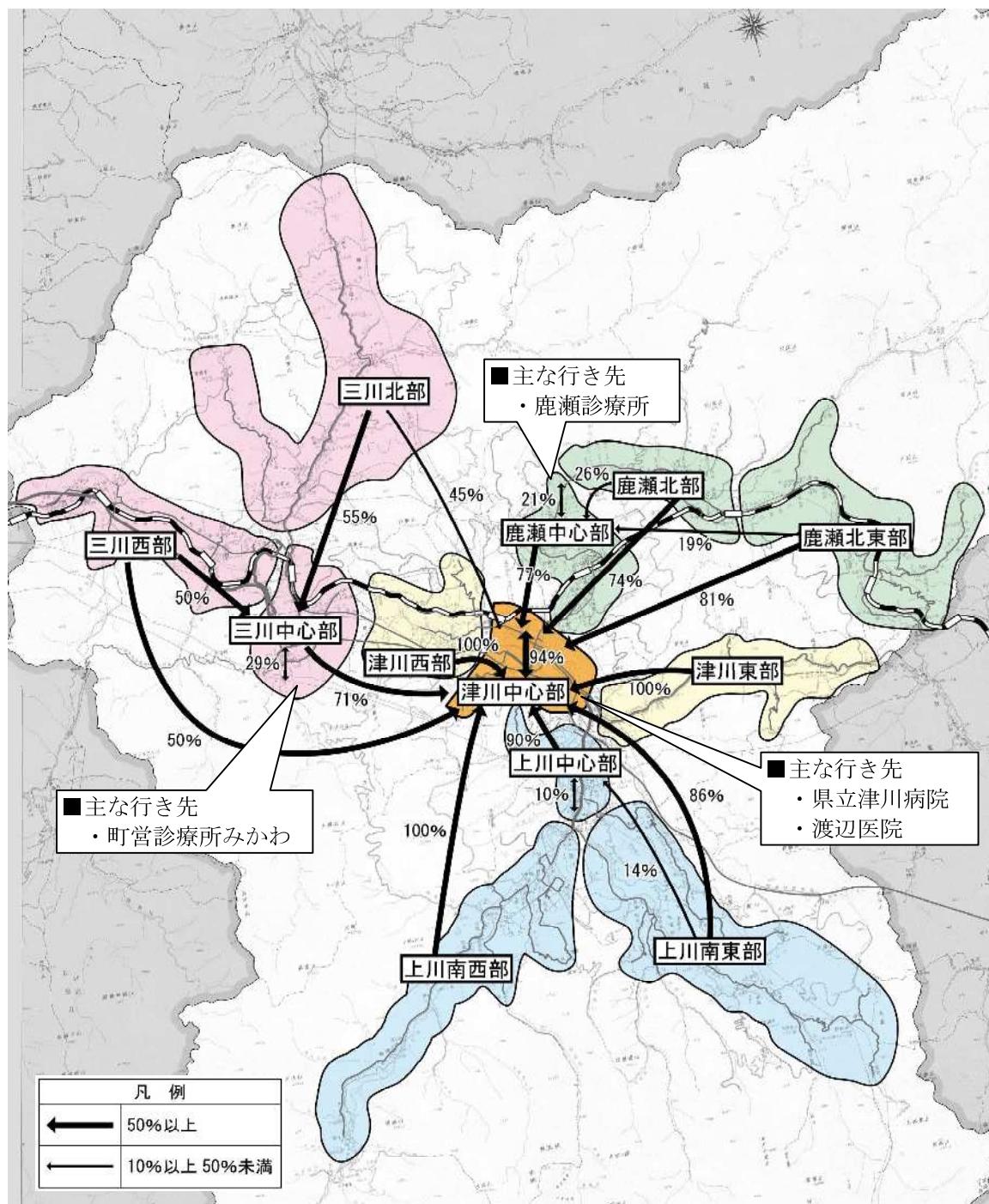


図 町内の移動状況（通院）

※母数は各集落別としている

※10%以上の流動のみ表現

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート

2) 買い物

○ほぼ全ての集落から津川中心部へバスを使って買い物へ行く人が多いですが、三川地域は、地域内の移動もあります。

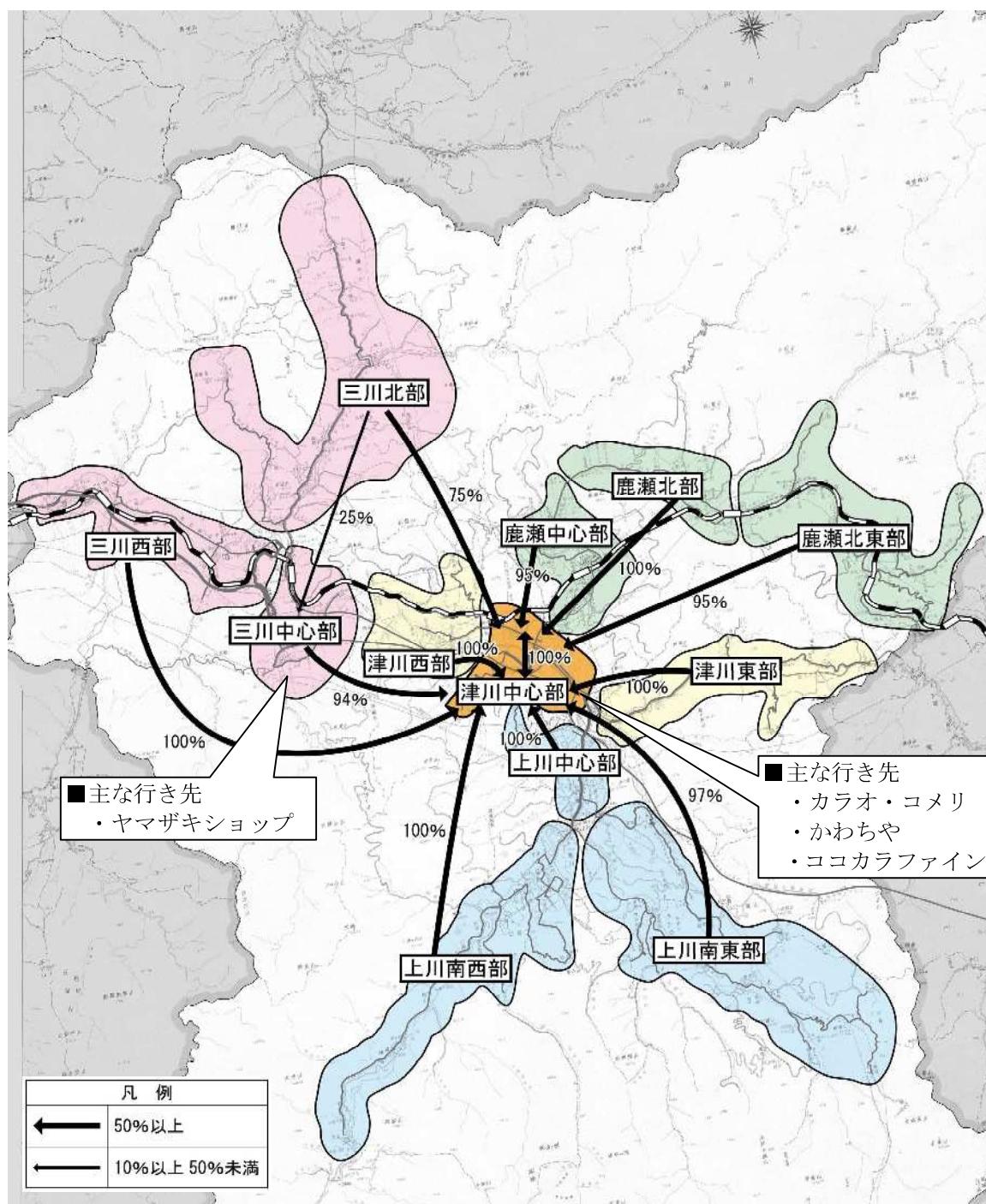


図 町内の移動状況（買い物）

資料：平成 29 年阿賀町利用者アンケート

(6) タクシー

- 阿賀町にはタクシー事業者が3社あり、鉄道やバスでは担うことができない時間帯の運行など自由度の高いサービスを行っています。
- 最近1年間でタクシーを利用した人は、26%となっています。
- タクシーを利用した理由は、「利用したい時間にバスが無いとき」、「家族に送迎をしてもらえないとき」がほぼ同数で多くなっています。
- 送迎をお願いできる人の有無別に見ると、タクシーの利用は、「送迎をお願いできる人はいない」と回答した人が利用していない町民と比較して多くなっています。

表 町内の新潟県ハイヤー・タクシー協会の加盟会社と保有台数

会社名	ジャンボ	大型	中型	小型	福祉
阿賀タクシー(株)	—	—	1台	1台	3台
(資)津川タクシー	1台	—	—	3台	—
(有)フラワー観光	3台	—	2台	21台	1台

※(有)フラワー観光は三川地域に営業所が立地

資料：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会資料

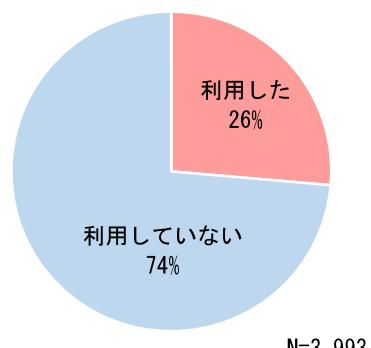


図 タクシーの利用の有無

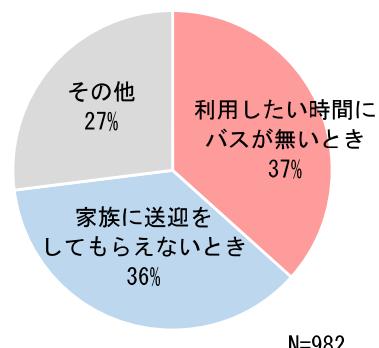
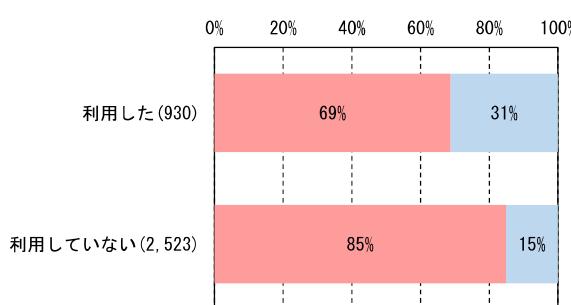


図 タクシーを利用した理由



■送迎をお願いできる人がいる ■送迎をお願いできる人はいない

図 送迎をお願いできる人の有無別の比較

※Nは回答者数を意味する

※()内の数字は無回答等を除いた回答者数

資料：平成29年阿賀町住民アンケート調査